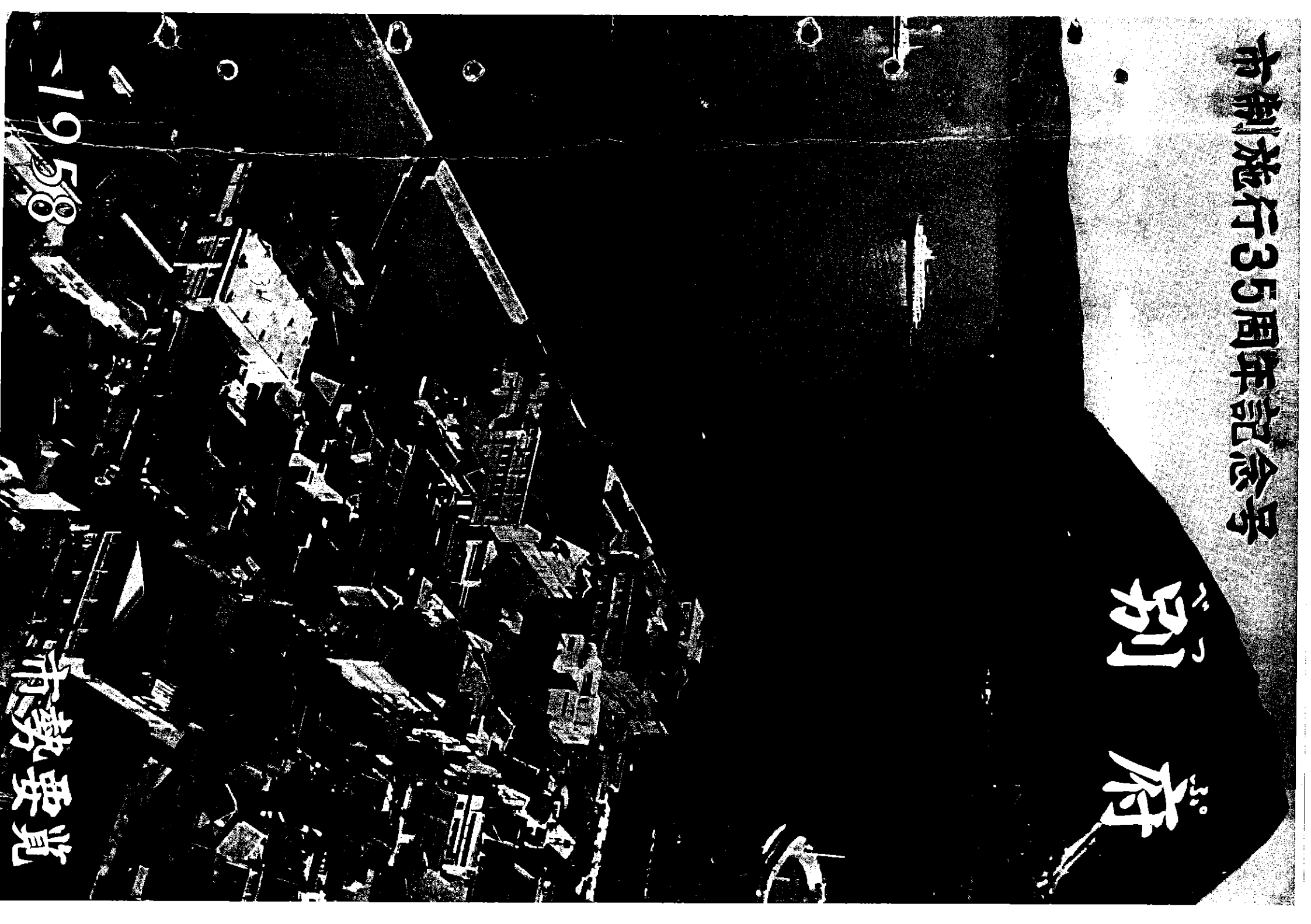


市制施行35周年記念号

新府



1958

市勢要覧

市制施行 35 周年記念号

市 勢 要 覧



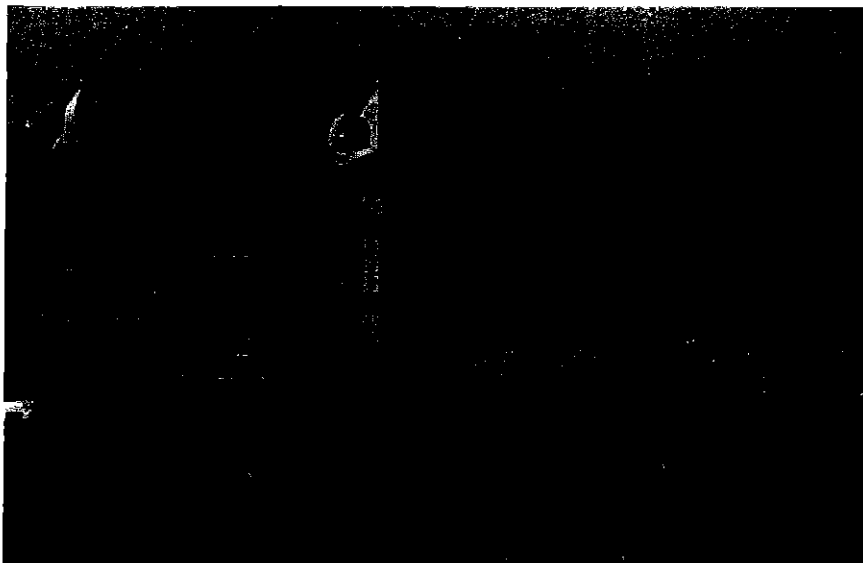
別府市 徽章について

本章は応募多数中より詮衡してこの図形を採用したものである。

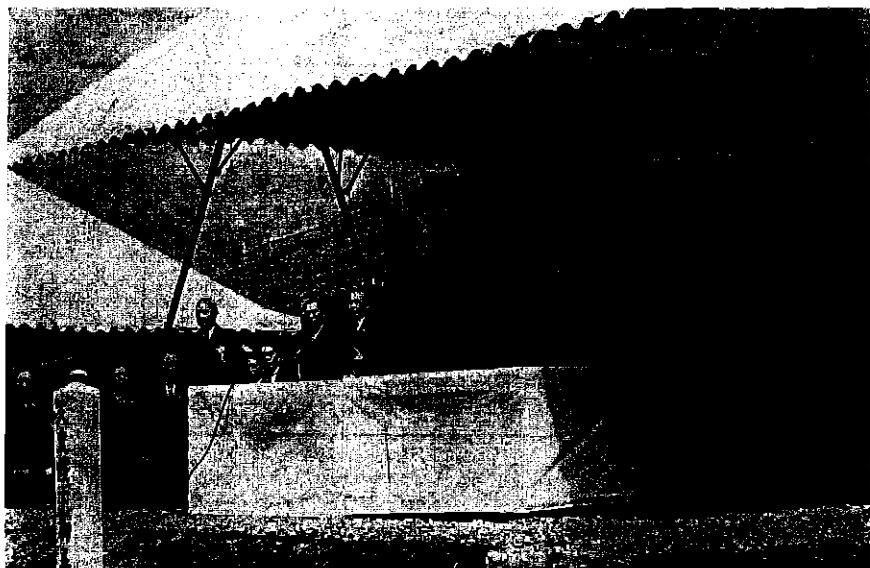
図形は別府市の「別」の字を図案化したもので大正13年4月1日市制施行によつて制定した。

別 府 市

昭和33年度国土緑化大会(植樹祭)は天皇、  
志高湖畔において盛大に行われた。



会場率迎門に御着きの御車



御座所におつきの両陛下

皇后、両陛下の行幸啓を仰ぎ別府市郊外



天皇さまお手植の御介添をする木下知事

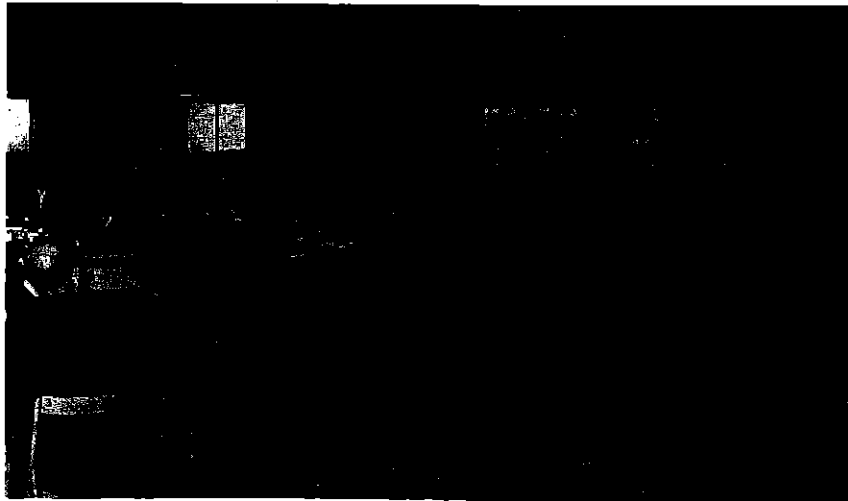


皇后さまお手植の御介添をする益谷国土緑化推進委員長



市長より表彰を受ける功労者

市制35周年を記念して不老泉三階大ホールに於て善行、篤行、人命救助者及び社会事業、商工勤続、親切運動、市政功労者計100名に対する表彰式を行った。



被表彰者を代表して謝辞を述べる山田収入役



昭和33年度市民体育大会（青山中学校グラウンド）



農業祭におけるミス農村作業服コンクール表彰式



## 発刊のことば

本市は大正13年4月市制施行後国際温泉都市として又観光文化都市としての各種観光施設も漸く充実に近郊町村の合併、編入によつて逐次市勢の発展を見ました。現在総面積 124,873平方尺に及び人口も10万余となり大分県人口の約8%を占めるに到り観光温泉都市の基礎を固め近代的スタイルのもとに名実ともに「とどまることを知らぬ生長発展都市」としての偉大な将来を約束されつつ悠久の発展に一路躍進しております。

その過程として、たまたま本年は市制施行35周年にあたり、一そうその意義大ならしむるため市制施行時より最近までの統計資料を出来得る限り集録し写真、図表なども豊富にとり入れて別府市の姿をひろく紹介すると共に明日の発展に備えるため、正確な資料をもとにして本書を編さんした次第であります。

しかし日常業務のかたはらに編集せしめたために不備の点もあるかと思われまますが市勢を正しく理解していただくために何ほかの参考となればこの上ない喜びと存じます。

昭和33年11月1日

別府市長  
遠重啓治



## 市政概要

目次	
総説	1
人口	5
行政	9
財政	21
教育文化	25
消防	31
警察	33
産業	35
市民生活	43
社会	49
保健衛生	53
運輸通信	57
温泉	63
建設	69
観光	73



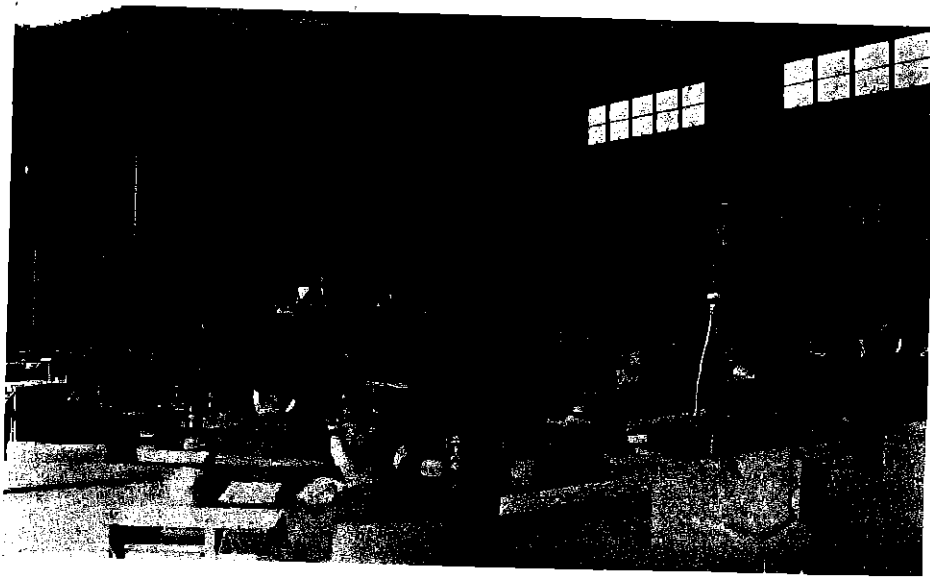
大正13年市制施行時の市庁舎



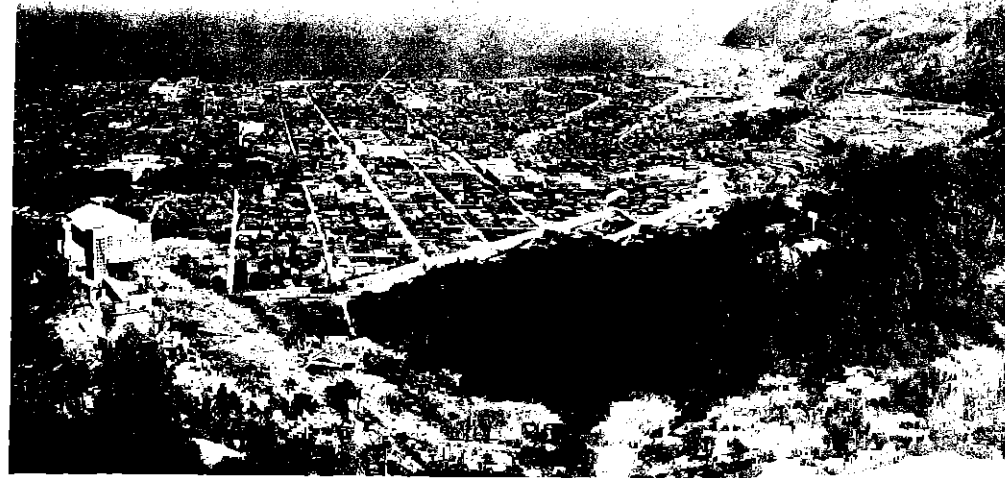
市 議 会 議 長  
石 坂 一 馬



市 議 会 副 議 長  
松 野 連 雄



開 会 中 の 別 府 市 議 会



地 勢

泉都別府は瀬戸内海の白波が西に尽るところ、九州の東海岸に面し、秀麗な市街、鶴見の連山を背にして紺碧淨らかな別府湾を前に控え風光明媚、四季を通じて気候は溫和に海は関西汽船KK、宇和島運輸KKの優秀船により阪神、中国、四国を結び、陸は国鉄日本線により上りは小倉を経て阪神、関東地方など本州に連絡し、下りは宮崎、鹿児島に通じ、豊肥線及び久大本線は熊本及び北九州の各地に文字通り海陸ともに四通八達し甚だ至便である。

南は野嶽の棲息地として有名な高崎山を境とし、小庭山を起し、天皇皇后両陛下を迎えて唐御行事が行はれた志高湖から鶴見火口原を経て雨乞岳、城ヶ岳を南西の市境として豊後富士と称する山岳帯を西限に古来より数度の噴火や地殻の変動によつて城島高台、鶴見ヶ丘、観海寺、乙原高台、十字原半原、内山溪谷など驚くべき大自然の景勝地を作つたもので、海は長汀曲浦となり、山岳は美林を現らし、阿蘇火山脈の通過する鶴見岳の東面は緩傾斜となつて扇状地を形成し市街地が発達したのが今の別府市である、阿蘇火山脈の余恵は山麓や溪谷、海浜に至る處に無数の温泉を湧出し或は地獄となり熱湯、熱気、熱泥を噴出して其の凄絶奇観は別府随一の観光資源を世に提供している。

別府温泉は細かく云えば浜脇、別府、観海寺、扇田、鉄輪、明礬、紫石、竜川の八温泉場の総称であり別府八湯とも呼ばれている一大温泉郷を成して湧出孔四千三百余、一昼夜の湧出量七・一五六キログラム(四二万石)と推算され、世界薬劑学会の認定せる泉質十一種類中の八種類を保有し、温泉と共に風光の美は別府をして正に國際的温泉観光都市の名声を冠せられるに至つたのである。

市の輪郭五十四キロ、南北十三キロ、東西十五キロ、海岸線九キロ、広ぼう一、二四・八七三平方キロを敷え年とともに益々発展の一途をたどる大別府市である。

沿革

別府市が極めて古い歴史をもっていることは、ドルメン、メンヒル、ストーンサークルなどの先史時代の巨石文化の遺蹟や国指定の遺蹟鬼の岩屋古墳其の他現に残されている各種の古墳や最近発掘された春木、実相寺の住居地などから見ても明らかである。

別府の地名の由来するところは国府に対する支府を意味するものと別府陽田の意味をもつものであるといふ二つの解釈がある。別府温泉のことは大己貴命や少彦名命の事蹟と共に既に古く豊後風土記や伊予風土記に現はれて居り景行天皇紀には「速見邑に至る、女あり速津媛と曰ひ一処の長となす、天皇の到るを聞き自ら親しく迎え奉る」とあり速見邑の内にあつた別府温泉地帯は景行天皇熊襲御西征の頃、速津媛の支配下にあつたようである。速見邑は郡県制の制定によって、速見郡と改められ、現在の別府市の地域は敵見の郷と稱えられたが後に朝見郷と改めたのである。

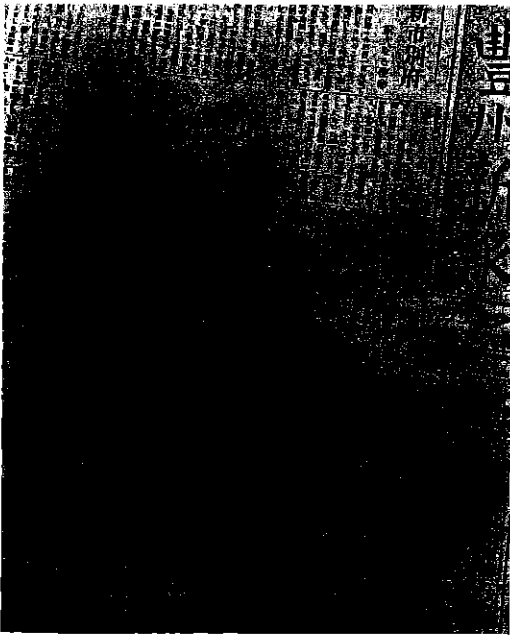
大正13年4月1日市制施行時の新聞

治承五年源頼朝が兵を挙げるや弟の範頼は平家追討のため立石城に入城したが頼朝は建久七年三月十日庶子大友左近将監能直を豊前豊後の守護職兼鎮西奉行として派遣した、能直は千八百の部下を従えて別府市浜脇に上陸し立石城に入った、これが豊後に覇を稱えた大友氏の祖である。後大友氏三代の国主兵庫頭頼泰は文永、弘安の役に勇名を馳せたが入道して道忍と改めこの戦で傷いた勇士済生のため明凡、鉄輪、浜脇などの温泉場を改修して療養所を作つたものでこれが我が国偽夷軍人温泉療養所の始まりであらう。

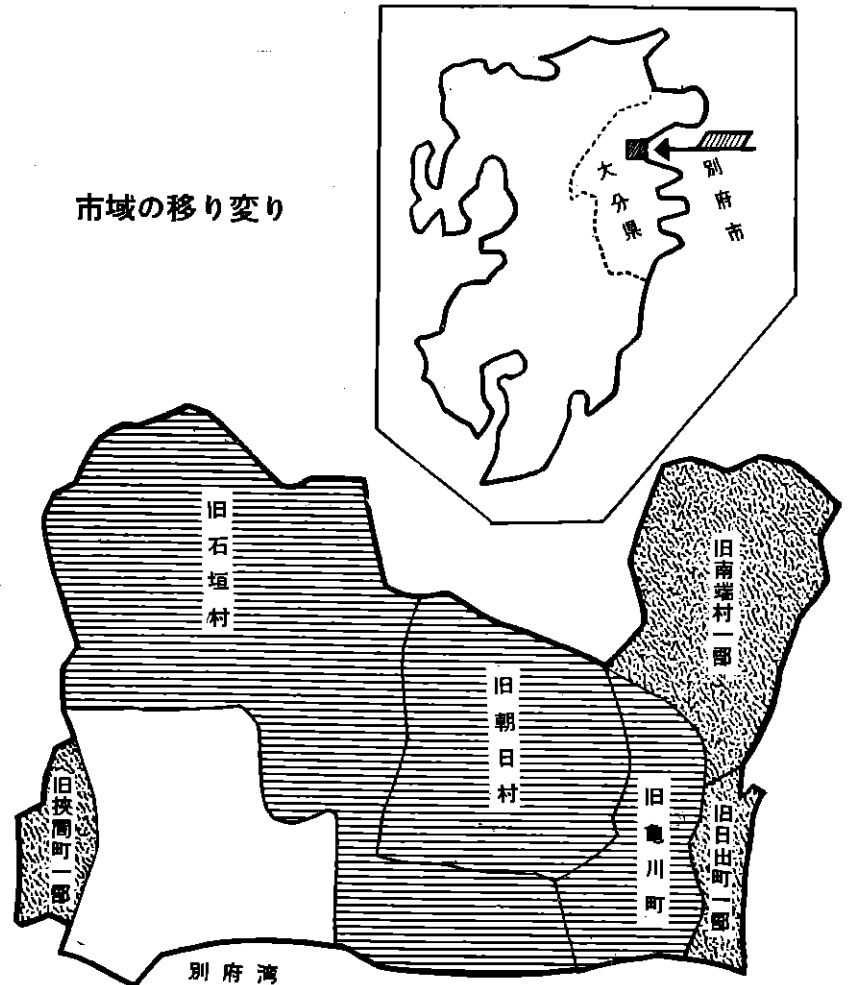
元禄七年貝原篤信は豊前豊後を巡歴して「豊国紀行」をあらはしその一節に「別府は石垣村の南に在り町にして民家百軒許り、民家の宅中には温泉十ヶ所あり何れもきよし云々」と誌している。文化七年二月には伊能忠敬来つて流川通り角に元標を建て、江戸日本橋より三百六十三里と記した。

明治になるや日田県に属し別府支庁が置かれ、県知事松方正義の治下に入った、明治二十一年町村制施行と共に自治体を敷き、明治三十九年別府、浜脇両村合併して別府町と改称された。其の後、市区改正、上水道設備、温泉場の改善等が行はれ漸次近代都市の形を整え大正十三年市制を施行し、昭和三年春中外産業大博覧会を社会事業として開催し大盛況を極め、昭和十年九月隣接亀川、朝日、石垣の一町二村を吸収して大別府市を形成するに至つた。

昭和十二年には国際温泉観光大博覧会を開催して温泉の宣伝と観光客誘致に努めた戦災を免れた別府市は終戦後愈々名声を高め昭和二十五年には別府国際観光温泉文化都市建設法の成立公布を見るに至り越えて昭和二十六年には国際観光港建設の礎石が市長の手によつて現場海中に投下され着々工事は完成の一步手前であり一方観光港を起点とする九州横断国際観光ルートも半ば工成り観光施設の充実と共に国内各地よりの観光浴客は勿論、米本国、布哇、印度、伊太利等其の他諸外国より別府を訪れる客は累年多きを数えるに至つた。昭和三十一年四月隣接日出町挾間町の一部を編入し、行政区画は益々拡大し明けて昭和三十三年三月には別府温泉観光産業大博覧会を開催、国内産業はもとより科学の粋を究め別府市が誇る温泉観光施設と共に観る者をして齊しく感歎せしめたものである。昭和三十三年四月八日別府三勝の一つである志高湖畔に於いて天皇皇后両陛下の行幸啓のもと植樹行事が盛大に挙行され、両陛下御手植の光栄に浴した。景勝につぐ温泉と観光施設は益々別府をして国際観光都市としての偉大なる将来を約束されつゝ悠久尽きぬ天与の温泉と共に発展の一途をたどり躍進しているのが別府の姿である。



市域の移り変り



合併編入年 月	合併、編入地域名	合併編入後の校区	合併編入区域の面積
昭10.9.4合併	亀川町	亀川	13.74
〃	朝日村	朝日	18.60
〃	石垣村	石垣	53.70
昭31.4.1編入	挾間町	蓮田	1.29
〃	南端村	亀川	14.88
〃	日出町	亀川	0.80

凡例

- 大正13年市制施行当時
- 昭和10.9.4合併
- 昭和31.4.1編入

市 庁 位 置

市 庁 位 置	別府市大字別府100番地の1
東 経	131度26分56秒
北 緯	33度17分12秒

面 積 及 び 広 さ

面 積	方 料	124,873 平方料	方 里	7,804 平方里
東 西	9.15 料	南 北	12.8 料	
広 げ	極 東	別府市大字浜脇下鉄幣		
	極 西	別府市大字東山宇西裏野		
字 幅	極 南	別府市大字内成宇アライ		
	極 北	別府市大字南畑宇木ノ板原		
大 字 数	15	行 政 区 数	117	

気 温 昭 32. 10 ~ 33. 9

気 温	結 霜	降 雪	
最 高	最 底	初	終
35.8°C	-3.3°C	12月7日	4月15日
		12月30日	3月30日

(京大火山温泉別研所調)

天 気 昭 32. 10 ~ 33. 9

快 晴	晴 天	曇 天	降 雨	降 雪	霧
50 日	169 日	146 日	137 日	13 日	61 日

(京大火山温泉別研所調)

(註) 天気は降水の有無に関せず曇量により全日の平均雨量2未満なるときは、その日を快晴とし曇量8以上なるときは曇天としその他を晴天とす。降雨の日数は降雨量の0.1mm以上の日とする。

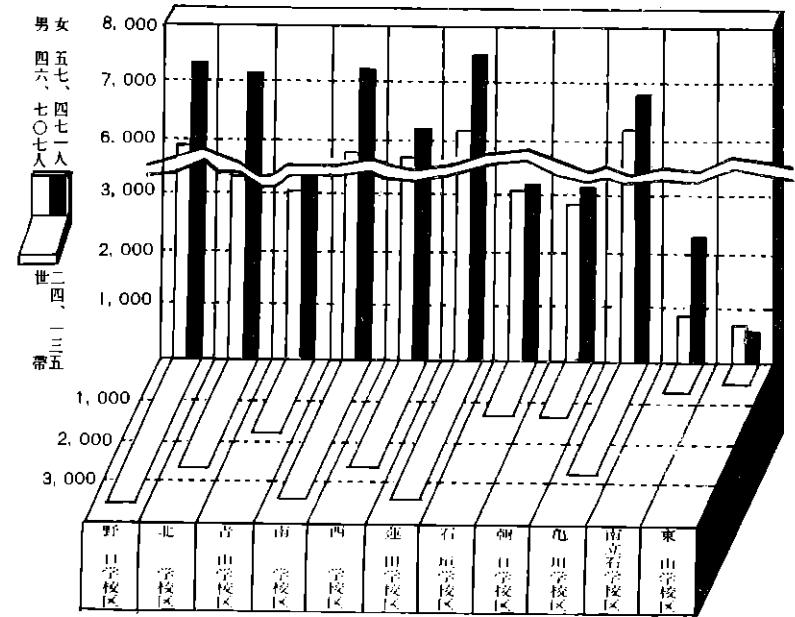
気 象 細 別

区 分	気 温			降 水		日 照 時		気圧平均	湿度平均
	平均	最高極	最低極	総 量	日 数	総 量	日 照率		
昭和32.10月	17.5°C	25.6°C	8.7°C	41.45	5日	191.42h	54.4%	755.94mb	76.1%
11月	13.85	26.0	5.6	51.05	7	179.30	57.0	759.22	74.0
12月	8.60	18.1	-0.3	49.75	10	137.39	42.9	758.31	69.8
昭和33.1月	5.69	18.0	-3.3	54.50	13	141.67	44.4	760.23	68.4
2月	7.12	17.6	-0.3	62.30	9	130.01	40.6	758.12	71.8
3月	9.53	21.6	-3.0	116.70	16	172.31	46.5	756.51	70.8
4月	14.58	26.2	3.2	262.80	17	135.39	34.9	755.56	77.0
5月	17.96	29.3	7.5	186.05	15	196.20	40.6	753.10	74.5
6月	22.32	33.0	15.6	125.07	11	208.87	49.2	750.34	78.0
7月	27.09	35.8	20.6	55.55	4	230.08	53.2	749.81	76.8
8月	25.68	32.9	20.2	237.45	19	165.17	40.2	751.55	84.0
9月	23.69	32.3	14.9	99.95	13	150.48	40.7	752.36	81.6

(註) 降水日数は0.1mm以上の日気圧は海面更正をしてありません (京大火山温泉別研所調)

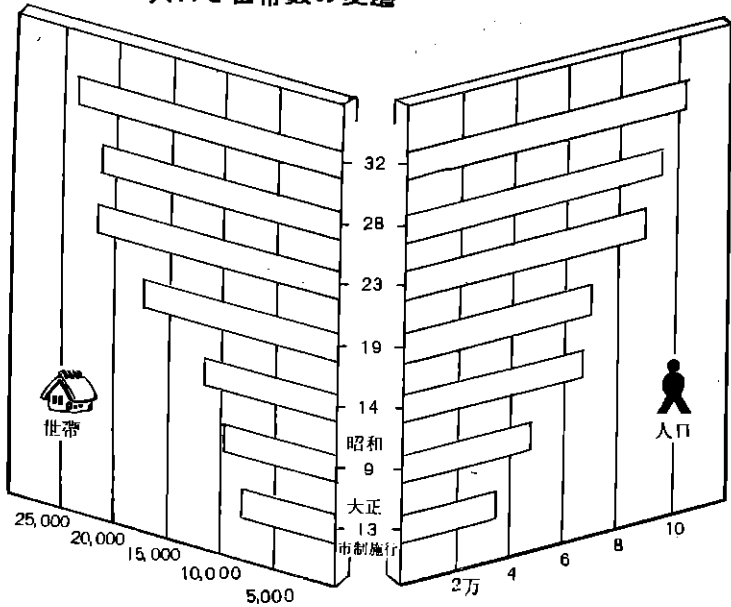


学校区別人口と世帯

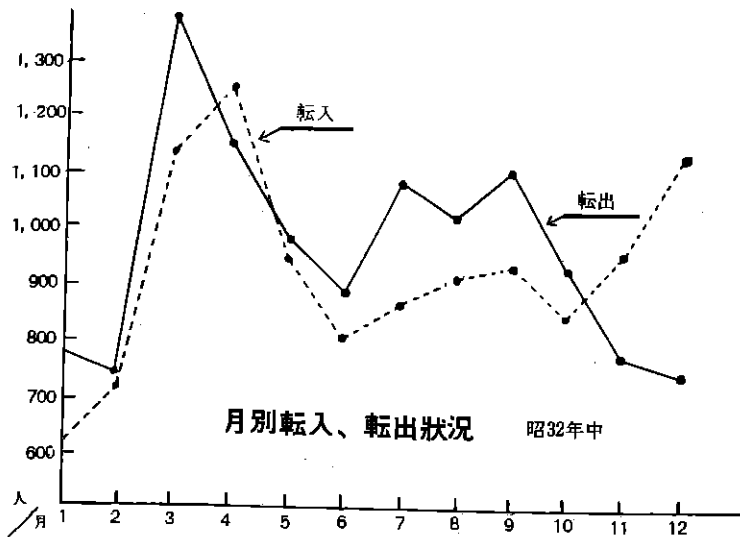
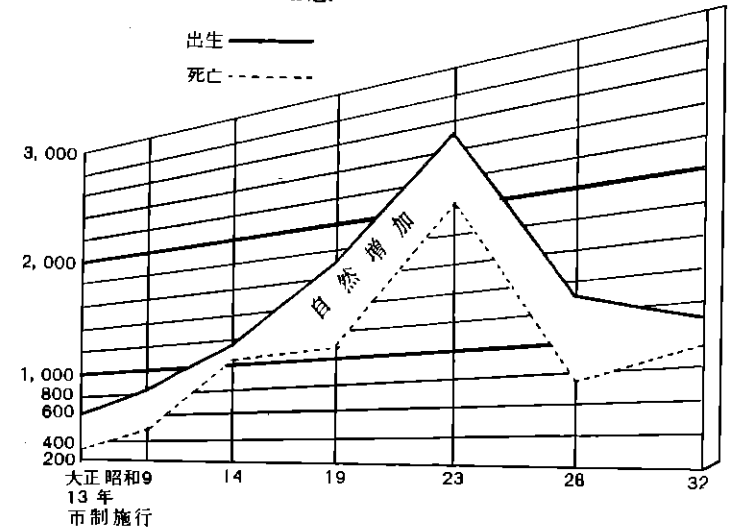




### 人口と世帯数の変遷



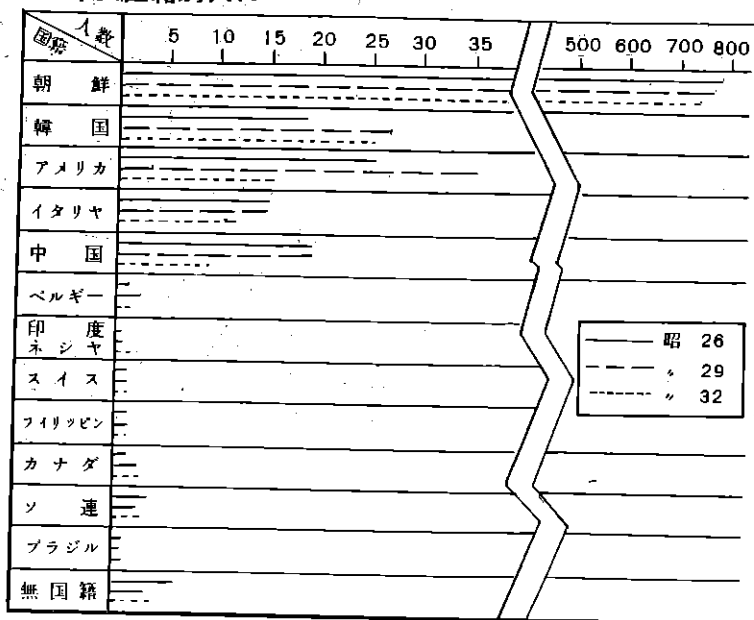
### 年次別人口動態



### 年次別死産、婚姻、離婚数

年 別	死 産	婚 姻	離 婚
大 正 1 3 年	78	116	19
昭 和 9 年	500	393	38
” 1 4 年	44	692	89
” 1 9 年	219	834	108
” 2 3 年	214	988	111
” 2 8 年	507	511	114
” 3 2 年	385	612	137

年次国籍別人口



未決 既決

執行機関  
市長

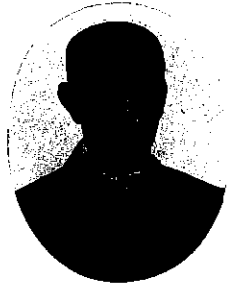
現別府市長荒金啓治氏は昭和30年4月30日に行われた市長選に直接市民の票により選出された第12代の公選市長である

市長は総合的な市の執行機関として市の行政を統轄し市の自治事務の専断権に基づいておこなわれた国の事務をも管理施行する広範な職務をもちている

県下11市世帯、人口、比較

市名	面積 平方	世帯数 (33.3末) 住民登録	人口 (33.3末住民登録)			
			総数	男	女	密度
大分市	64.2	29,736	121,971	59,365	62,586	1,903
別府市	124.9	26,585	110,704	50,483	60,221	886
中津市	54.0	14,486	65,851	31,020	34,831	219
日田市	269.4	12,742	71,538	34,608	36,903	266
佐伯市	196.9	12,303	57,182	27,435	29,747	290
臼杵市	151.8	9,989	49,066	24,043	25,023	323
津久見市	77.7	7,656	39,245	19,386	19,859	505
竹田市	200.5	7,593	38,242	18,620	19,622	191
鶴岡市	54.2	5,391	28,792	14,125	14,667	531
豊後高田市	121.1	6,344	30,697	14,744	15,953	253
杵築市	90.8	6,112	30,370	14,611	15,759	334

歴代市長



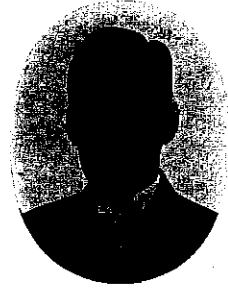
神 沢 又 一 郎  
1代 大正 13. 5. 26 就任  
昭和 3. 5. 28 退任



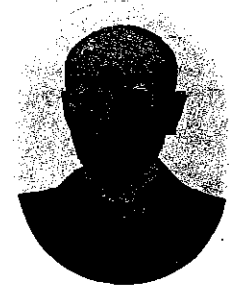
平 山 茂 八 郎  
2代 昭和 3. 5. 29 就任  
7. 5. 28 退任  
3代 " 7. 5. 29 就任  
10. 6. 3 退任  
7代 " 17. 9. 24 就任  
17. 10. 19 退任



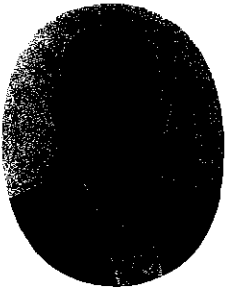
永 野 清  
4代 昭和 10. 8. 30 就任  
" 10. 9. 8 退任



小 野 廉  
5代 昭和 10. 9. 22 就任  
" 13. 4. 11 退任



内 藤 晴 三 郎  
6代 昭和 13. 7. 11 就任  
" 17. 7. 10 退任



末 松 備 一 郎  
8代 昭和 17. 10. 20 就任  
" 21. 10. 19 退任



阿 部 鉄 一  
9代 昭和 21. 11. 13 就任  
22. 4. 5 退任  
10代 " 22. 4. 6 就任  
26. 4. 2 退任  
11代 " 26. 4. 25 就任  
" 30. 4. 12 退任



荒 金 啓 治  
12代 昭和 30. 5. 2 就任  
現 在

歴代職務管掌

順 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	備 考
1 代	大 木 俊 輔	大正 13. 4. 1	大正 13. 9. 26	職 務 管 掌
2 代	小 坂 登	昭和 10. 6. 4	昭和 10. 8. 30	"
3 代	福 田 瀧	" 17. 8. 19	" 17. 9. 24	臨 時 代 理 者

補 助 機 関

市長の補助機関として助役、収入役をはじめ多数の職員をおき円満な運営がなされている。助役は市議会の同意を得てこれを選任、その任期は4年である。

市長の最高補佐機関として職員の担任する事務を監督し又市長の職務を代理する。収入役は市の出納その他会計事務を掌り収入及び支出を命令する市長に対し独立の地位を有し命令を審査する権限がある任期は4年であつてこれが選任には市議会の同意を要するが任期中は解任できない。

本市が大正13年に市制施行して以来の歴代助役、収入役は次の通である。

歴 代 助 役

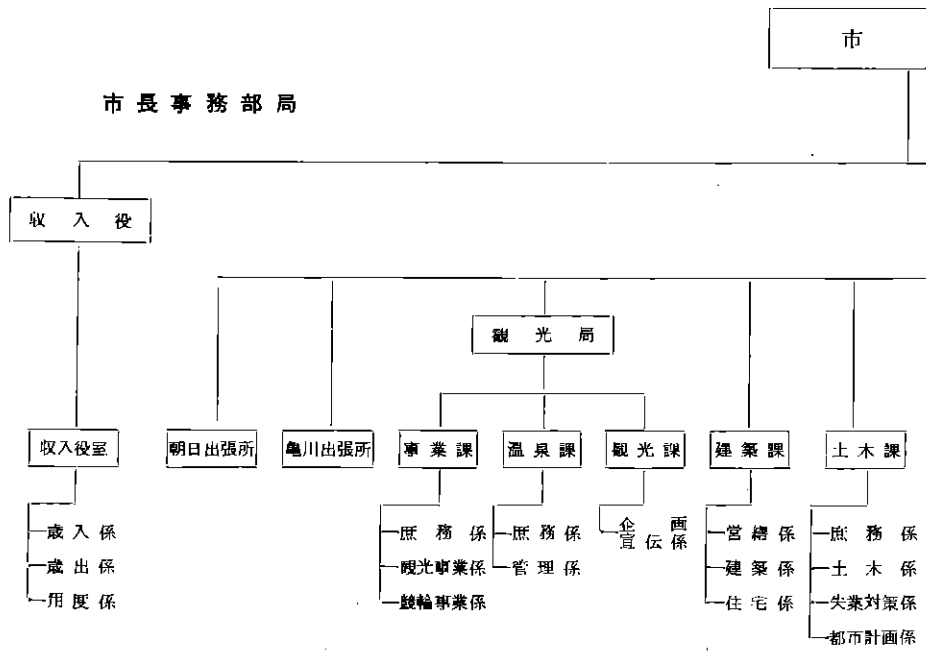
順 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	備 考
1 代	笠 置 雪 治	大正 13. 10. 1	昭和 3. 10. 10	
2 代	藤 井 文 雄	昭和 3. 10. 6	昭和 7. 8. 29	
3 代	相 良 律 蔵	昭和 7. 10. 5	昭和 10. 12. 21	
4 代	猪 俣 喜 蔵	昭和 11. 3. 7	昭和 13. 7. 19	
5 代	福 田 瀧	昭和 13. 8. 19	昭和 17. 8. 18	
6 代	福 田 瀧	昭和 17. 9. 29	昭和 18. 5. 29	
7 代	齋 海 文 珠 蔵	昭和 18. 5. 31	昭和 22. 4. 6	昭和22年勅令第3号該当
8 代	齋 幸 岩 河 友 護 吉	昭和 22. 7. 28	昭和 26. 7. 27	助役三人制
9 代	齋 幸 河 村 友 珠 友 吉	昭和 26. 7. 28	昭和 28. 2. 5 昭和 30. 5. 19	助役二人制
10 代	岡 本 亮 介	昭和 30. 5. 19	昭和 32. 7. 31	
11 代	荒 金 進	昭和 32. 11. 1	現 在	

歴 代 收 入 役

順 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日	備 考
1 代	永 井 相 次	大正 13. 10. 11	昭和 3. 10. 10	
2 代	藤 沢 徳 三	昭和 3. 10. 18	昭和 7. 10. 17	
3 代	原 電 橋	昭和 7. 10. 22	昭和 11. 10. 21	
4 代	末 綱 又 生	昭和 11. 12. 16	昭和 15. 12. 16	
5 代	山 田 耕 平	昭和 15. 12. 17	昭和 19. 12. 16	
6 代	山 田 耕 平	昭和 19. 12. 17	昭和 23. 12. 16	
7 代	山 田 耕 平	昭和 23. 12. 17	昭和 27. 12. 16	
8 代	山 田 耕 平	昭和 27. 12. 17	昭和 31. 12. 16	
9 代	山 田 耕 平	昭和 31. 12. 17	現 在	

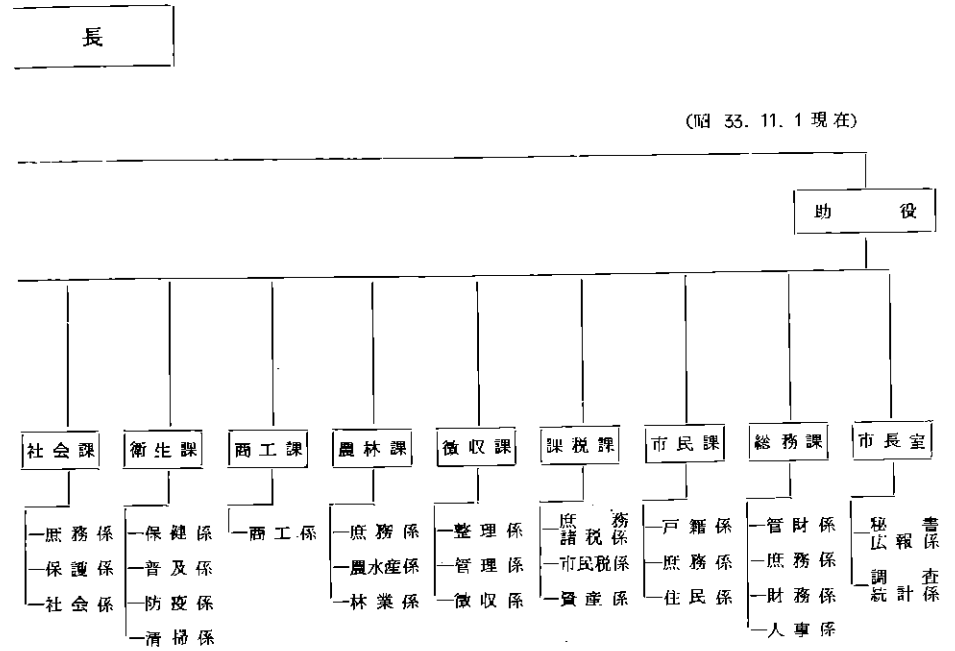
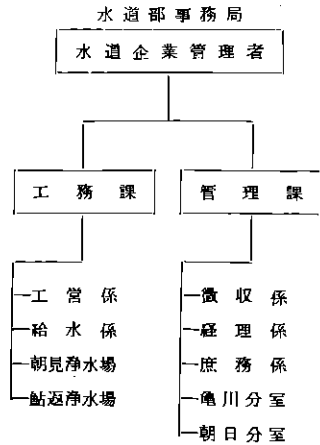
別府市行政

機構一覽



その他の事務局

- 別府市議会事務局
- 選挙管理委員会事務局
- 監査事務局
- 農業委員会
- 消防署



別府市職員数

(昭 33. 11. 1 現在)

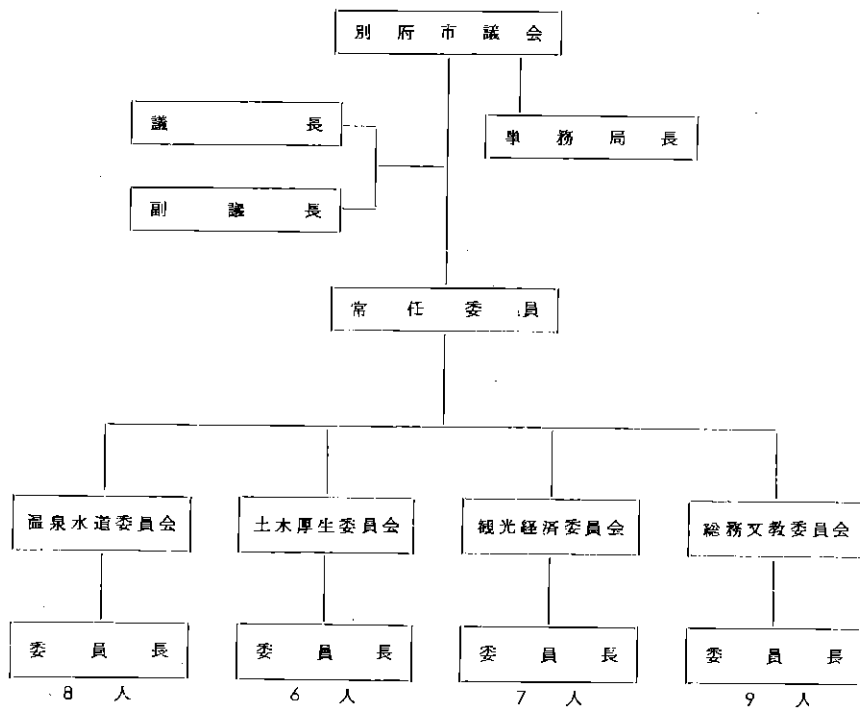
	計	事務吏員	技術吏員	事務補助員	技術補助員	現業員	嘱託	準職員
市長部局	550	170	24	90	35	105	10	116
水道部局	144	18	11	22	35	32	2	24
消防署	56	消防吏員 56						
市会及び行政委員会事務局	178	86	—	39	5	38	3	7

議 決 機 関

別府市議会は条例の定むる所による36名の議員によつて構成されている。その任期は4年である。市議会は市民の代議機関であつて議決権の外監査の請求、行政事務の調査など広汎な権限が附与されている。議員の選挙権は満20才以上の日本国民で3ヶ月以上引つゞいて市内に居住することを要件とし、被選挙権はこの選挙権を有するもので満25才以上でなければならない。

市議会の議長及び副議長は議員の中から市議会に於て選挙される。議長は議会を主宰し市議会に関する事務を統理し議会を代表する。なお市議会には市議会の庶務一般を処理するため事務局が設けられ、これに事務局長、書記等がおかれている。

機 構



(昭 33. 11. 1 現在)

歴代市議会議長



山田 耕平  
初代 大正 13. 6. 28 就任  
" 15. 7. 8 退任  
3代 昭和 3. 6. 29 就任  
" 7. 6. 20 退任



高橋 欽哉  
2代 大正 15. 7. 8 就任  
昭和 3. 6. 19 退任



川野 直吉  
4代 昭和 7. 7. 1 就任  
" 9. 12. 10 退任  
5代 " 10. 3. 15 就任  
" 11. 6. 20 退任  
7代 " 13. 8. 18 就任  
" 15. 1. 19 退任



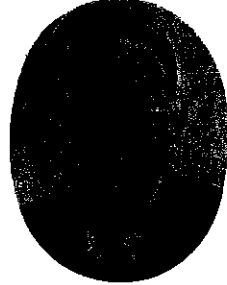
森 八治  
6代 昭和 11. 7. 6 就任  
" 13. 8. 18 退任



近 幸雄  
8代 昭和 15. 3. 11 就任  
" 15. 6. 20 退任



手島 森太郎  
9代 昭和 15. 7. 9 就任  
" 17. 9. 10 退任



宇都宮 則綱  
10代 昭和 17. 9. 10 就任  
" 21. 10. 30 退任



岡 重喜  
11代 昭和 21. 10. 30 就任  
" 22. 4. 29 退任



垣 迫 杉 太  
12代 昭和 22. 5. 24 就任  
" 25. 11. 17 退任



佐 藤 福 治  
13代 昭和 25. 11. 17 就任  
" 26. 1. 10 退任



平 野 国 松  
14代 昭和 26. 3. 7 就任  
" 28. 3. 7 退任  
15代 " 28. 3. 7 就任  
" 30. 2. 19 退任



永井正  
16代 昭和30.5.18就任  
昭和33.7.12退任

石坂一馬  
17代 昭和33.7.14就任  
現在

歴代市議会副議長

順位	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	和田嘉七	大正13.6.28	大正15.7.8
2代	河村三	大正15.7.8	昭和3.6.20
3代	岩尾恒吉	昭和3.6.29	昭和5.6.30
4代	藤沢良吉	昭和5.6.30	昭和7.6.20
5代	鶴田道造	昭和7.7.1	昭和10.3.27
6代	安部謹吾	昭和10.3.27	昭和11.5.1
7代	手島森太郎	昭和11.5.9	昭和11.6.20
8代	毛井隆治	昭和11.7.6	昭和13.7.4
9代	近幸雄	昭和13.8.11	昭和15.3.11
10代	牧福一	昭和15.3.11	昭和15.6.20
11代	小野孝平	昭和15.7.9	昭和17.10.3
12代	豊田謙一	昭和17.10.3	昭和21.10.30
13代	牧福一	昭和21.10.30	昭和22.4.29
14代	安部卓夫	昭和22.5.24	昭和25.11.17
15代	池田一好	昭和25.11.7	昭和26.1.10
16代	永井正	昭和26.3.7	昭和27.7.28
17代	星野数夫	昭和27.10.20	昭和28.6.30
18代	永井正	昭和28.6.30	昭和30.2.19
19代	大塚熊喜	昭和30.5.18	昭和31.6.13
20代	原田時市	昭和31.6.13	昭和32.11.1
21代	石坂一馬	昭和32.11.1	昭和33.7.14
22代	松野達雄	昭和33.7.14	現在

市議会議員

氏名	席次	所屬	職業	電話番号	住所
宇都宮秀綱	1	総務文	無職	1,358	不住老
久保保	2	◎親光	会社	268	吉
井口春吉	3	親光	会社	2,794	野 川
大塚熊喜	4	総務文	会社	1,684	野 川
平野国新	5	温泉	無職	1,626	流 浜
岩野尾村	6	温泉	無職	86	梅 園
中吉原	7	◎温泉	無職	1,943	野 園
横江征一	8	◎温泉	無職	649	野 園
村岩権良	9	◎温泉	無職	2,007	野 園
中吉原	10	◎温泉	無職	1,328	野 園
佐藤征一	11	◎温泉	無職	8,358	野 園
佐藤征一	12	◎温泉	無職	66	野 園
佐藤征一	13	◎温泉	無職	589	野 園
佐藤征一	14	◎温泉	無職	4,470	野 園
佐藤征一	15	◎温泉	無職	2,587	野 園
佐藤征一	16	◎温泉	無職	697	野 園
佐藤征一	17	◎温泉	無職	50	野 園
佐藤征一	18	◎温泉	無職	1,225	野 園
佐藤征一	19	◎温泉	無職	969	野 園
佐藤征一	20	◎温泉	無職	136	野 園
佐藤征一	21	◎温泉	無職	775	野 園
佐藤征一	22	◎温泉	無職	8,489	野 園
佐藤征一	23	◎温泉	無職	132	野 園
佐藤征一	24	◎温泉	無職	2,651	野 園
佐藤征一	25	◎温泉	無職	1,177	野 園
佐藤征一	26	◎温泉	無職	381	野 園
佐藤征一	27	◎温泉	無職	1,602	野 園
佐藤征一	28	◎温泉	無職	2,986	野 園
佐藤征一	29	◎温泉	無職	799	野 園
佐藤征一	30	◎温泉	無職	81	野 園
佐藤征一	31	◎温泉	無職	786	野 園
佐藤征一	32	◎温泉	無職	952	野 園
佐藤征一	33	◎温泉	無職	8,179	野 園
佐藤征一	34	◎温泉	無職	1,804	野 園
佐藤征一	35	◎温泉	無職	629	野 園
佐藤征一	36	◎温泉	無職	3,700	野 園
佐藤征一	37	◎温泉	無職	3,391	野 園
佐藤征一	38	◎温泉	無職	1,788	野 園
佐藤征一	39	◎温泉	無職	8,439	野 園
佐藤征一	40	◎温泉	無職	256	野 園
佐藤征一	41	◎温泉	無職	3,816	野 園
佐藤征一	42	◎温泉	無職	1,884	野 園
佐藤征一	43	◎温泉	無職	1,300	野 園

◎委員長 ○副委員長

市議会開会数及び議決件数

(昭和32.1~12)

区別	回数	日数	提案件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	協議会
定例会	4	24	114	110	—	1	2	6
臨時会	5	8	26	24	2	—	—	—
計	9	32	140	134	2	1	2	6

### 委員会及び委員

各種行政委員会は合議制による行政機関であり、この制度は戦後我が国の行政機構のなかに急速に取り入れられ著しい発展をみせている新しい型の行政機関である。

普通地方公共団体には地方自治法第 180 条の 5 により教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会、固定資産評価審査委員会等の各種の行政委員会がおかれている。

### 選挙管理委員会

選挙管理委員会は選挙の民主化と公正を保障するため設けられた、公選首長に対して独立の地位を有する執行機関であつて、その委員の構成を不偏不党たらしめ、選挙権を有する者より市議会に於て選挙した委員 4 名をもつて構成し、任期は 3 年である。

委員会は本市又は国その他公共団体の選挙に関する事務並に一般投票に関する一切の事務を管理し、合議制によつて会議の運営をはかる。

### 選挙管理委員会委員

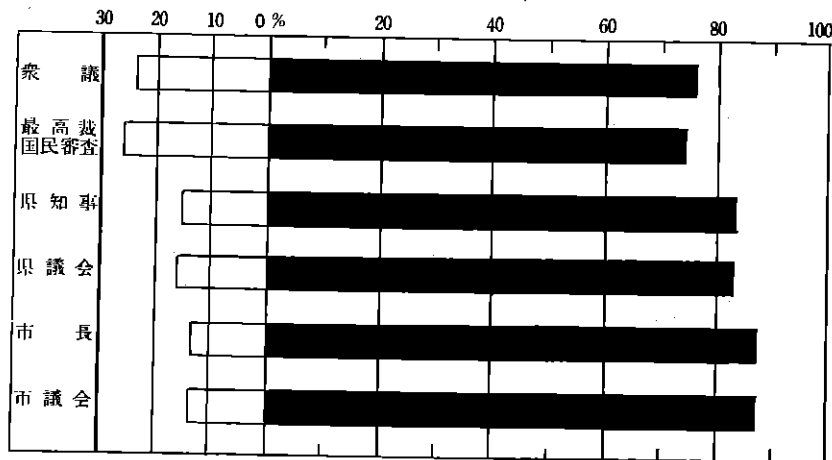
(昭 33. 11. 1 現在)

職名	氏名	生年月日	職業	現住所	電話番号
委員長	毛利 敬 止	明 32.12. 1	無 職	別府市不老町 19 組	188
委員	三浦 直 政	明 30. 1.21	大学 講師	“ 上原 5 組	—
“	宇佐美 鉄 雄	明 38.11.29	税 理 士	“ 朝見 9 組	—
“	安部 伝 一郎	明 27. 1. 7	市 属 託	“ 本町 3 組	—

### 投票率比較

(昭 30 年中)

投票率 棄権率



### 監査委員

監査委員は市長より独立し、又他の各種行政委員会と異なる独任制の機関であつて地方自治法の定めるところにより市行政の公正と効率の確保を指導理念として、市行政の実態を検討把握し、その結果を発表することにより議会の審議及び理事者の執行に資すると共に市民の市行政に対する関心を振起することを目的とするものである。

本市監査委員の定数は 2 名であり、市長が市議会の議員及び半職経験者の中から各 1 名づつ議会の同意を得て選任するのであり、現在の監査委員は次の 2 名である。

昭 33. 11. 1 現在

氏名	選任別	生年月日	現住所
宇都宮 秀 綱	市議会議員	大正 8. 1. 10	別府市大字別府 2,192 の 1
上田 鶴 市	学識経験者	明治 35. 9. 7	別府市大字内藤 1,032 の 2

監査委員の職務執行を補助するため監査事務局が置かれており補助職員は局長以下 6 名である。昭和 32 年度中に執行した監査は次の通りである。

総数	例月検査	臨時出納検査	定期監査	臨時監査	決算審査
23	12	3	3	2	2

### 公平委員会

昭和 25 年 12 月 13 日公布された地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するために同法第 7 条の規定に基いて昭和 26 年 7 月 27 日に本市の公平委員会が設置された。委員会は一般の職員の人事行政に関して調査企画を行い、研究の結果を市議会又は任命権者に提出し、人事行政の運営について任命権者に勧告し判定する等の職務権限がある。委員会は市長が市会の同意を得て選任する 3 名からなり、委員の任期は 4 年であり、現在の公平委員は次の通りである。

昭 33. 11. 1 現在

氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
二宮 威 徳	海門寺	佐藤 勇 吉	吉 弘	垣 迫 杉 太	松 原

### 固定資産評価審査委員会

地方税法第 423 条及び第 431 条の規定により固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するために昭和 26 年 11 月 1 日日本市に次の通り固定資産評価審査委員会が設置された。

### 固定資産評価審査委員

昭 33. 11. 1 現在

氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
金 居 曹 三	北 浜	高 橋 栄 一	不 老	田 中 忠 志	龜川本町
高 橋 亮 三	古 市	安 波 亀 治	鉄 輪	佐 藤 勇 吉	吉 弘
宮 崎 隆 人	不 毛	末 松 利 治	上 原	岩 尾 米 造	楠 町

農 業 委 員 会

農業委員会は農業、生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農民の地位の向上に寄与するための代表機関として設けられた独立機関である。

委員会はその権限に属された農地等の利用調整及び自作農の創設維持、交換分合その他農地に関する諸事務を処理し農業生産の増進農業経営の合理化農民生活の改善等に関する振興計画の樹立、実施の推進について建議又は諮問に応ずる。

昭昭和32年7月20日以降委員会機構運営の整備のため従来市に設置されていた四委員会を廃し、一委員会に改組された。

委員会機構並びに開催回数

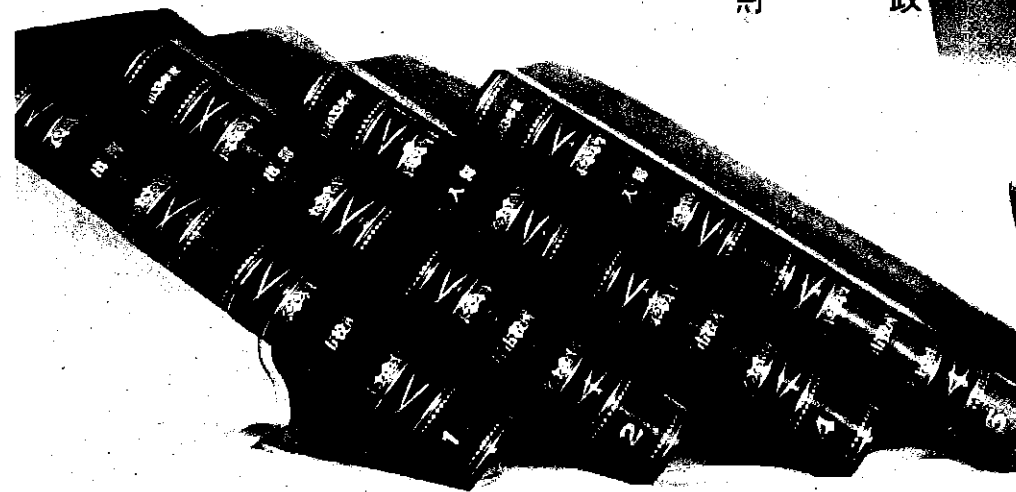
昭 33. 11. 1 現在

委員 数			職 員 数		開 催 回 数
公 選	選 任	計	定 員	現 員	
20	10	30	8	7	10

委員会取扱件数

昭 33. 11. 1 現在

区 別 件 数	件 数			
	所有権移転	農地の譲渡	小作地引上	そ の 他
受 理 件 数	200	221	35	37
許 可 件 数	191	216	29	28
不 許 可 件 数	1	1	—	1
取 下 件 数	3	3	3	1
そ の 他	5	1	4	7



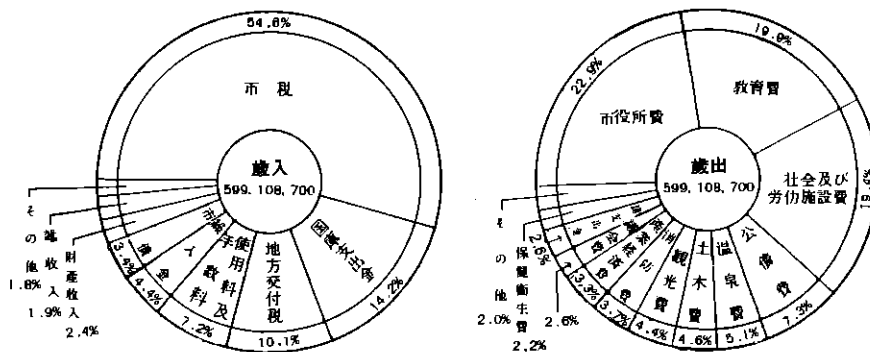
地方財政は地方団体の財政であり、予算は住民の行政意志を数字で表わしたものである。よく地方財政の健全化が叫ばれているが、一年毎の収支が黒字であれば一応足りりとするであらうが、地方団体の存在は永遠である限り行政も恒久的であり、財政の健全性は持続性を持たねばならない。

本来地方財政は経常的な支出と収入が均衡し、年々増加する経費を年々増加する収入で賄い得なければならない。

政府が福祉国家の建設という方向に進む限り市政の膨張は一層著しくなるが、これを許容するものは自主財源である市税収入の確保以外にない。税を行政の側から考えると多いことを望み、税金負担し行政の効果を受ける住民の側ではより低減を求めるが両者の調整点を何処に求めるかが問題である。ひるがえって近時公営の公約による減税措置が具体化しつつあり、これにつれて地方団体の減収の補填が問題となってきたが、外部からの圧力に対しては財政に弾力性がなければ抗し得ない。このため生育的経常費については行政の近代化によつて能率と速度をたかめて需用を引下げ、建設経費については計画投資によつて弾力性を保持することである。

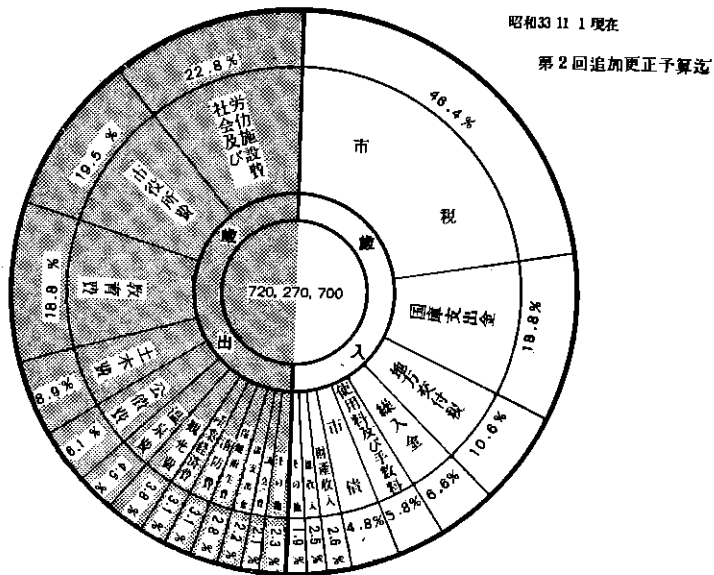
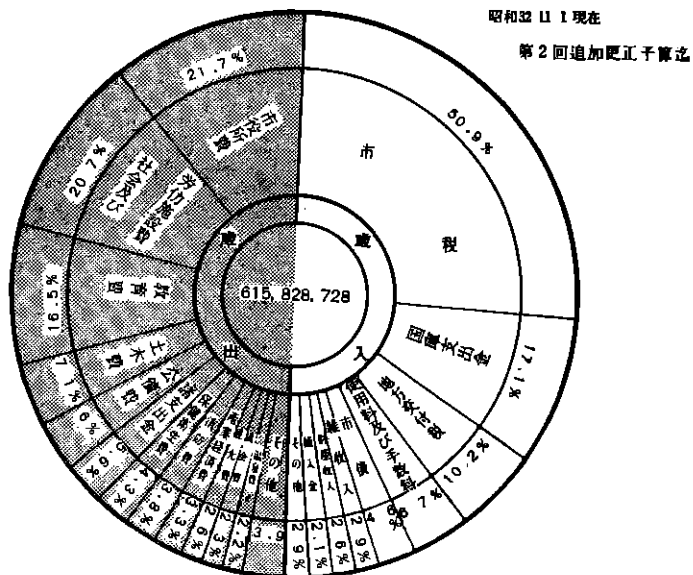
市が文化性を求めて膨張することは観光都市としての性格から当然のことであり、それに従つて財政の規模も拡大するであらうが、自主財源の確保を第一として歩一歩と発展を続けるべきである。

昭和33年度一般会計当初予算



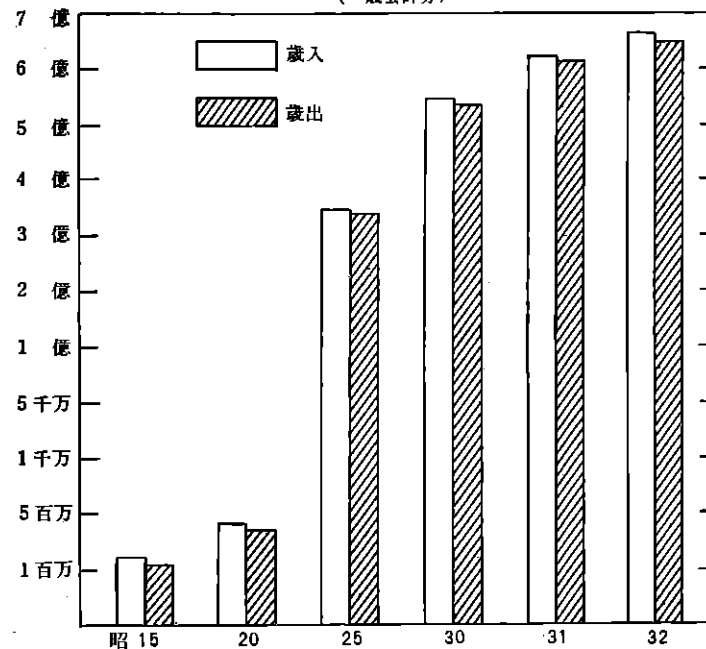


年次別一般会計歳入歳出予算



年次別歳入歳出決算比較

(一般会計分)



年次別市税状況

(単位 円)

年度	26	27	28	29	30	31	32
予 算 額	164,703,355	213,219,120	209,157,100	266,664,000	286,417,800	300,637,860	314,031,563
調 定 額	218,262,090	266,462,099	294,248,285	370,865,128	398,721,597	411,642,829	411,253,853
徴 収 済 額	165,713,051	216,843,816	219,619,115	276,271,588	290,813,698	311,287,986	322,347,780
未 済 額	52,549,038	49,618,283	74,629,170	94,593,540	107,907,899	100,354,843	88,906,073

特別会計歳入歳出予算

本市特別会計は水道、競輪の二企業である。特別会計は原則として独立採算制によらねばならぬのは固よりであるが、競輪事業における収益は、一般会計に繰入れられ、道路補装に住宅建設に、大きな役割を果たしている。

水道費昭和32年度決算状況

(単位円)

科 目	予算額(A)	予算額(B)	比率B/A	科 目	予算額(A)	予算額(B)	比率B/A
事業収益	71,557,954	70,783,327	98.89	資本的収入	50,000	122,983	245.97
営業収益	71,291,904	70,502,376	98.89	資本剰余金	50,000	122,983	245.97
営業外収益	266,050	280,951	98.25	資本的支出	11,822,060	11,452,405	96.87
事業費用	72,512,390	71,626,239	98.78	建設改良費	10,196,540	9,826,865	96.37
営業費用	64,256,619	63,370,468	98.62	企業償還金	1,625,502	1,625,520	100.00
営業外費用	8,255,771	8,255,771	100.00				

競輪事業会計決算状況

科 目	31年度(A)	32年度(B)	比率B/A	科 目	31年度(A)	32年度(B)	比率B/A
入場料	86,010	69,840	0.811	競輪場費	17,596,794	17,365,230	0.986
車券発売金	344,513,400	335,207,600	0.972	開催費	315,272,698	309,679,680	0.982
車券発売時効収入	517,320	468,060	0.904	交付金	10,335,402	10,128,988	0.980
繰越金	1,563,094	3,553,299	2.273	公債費	—	—	—
雑収入	534,917	486,500	0.909	諸支出金	456,546	372,500	0.815
合計	347,214,741	339,705,299		合計	343,861,442	337,548,583	

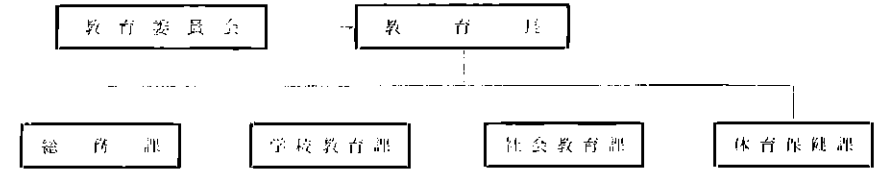
競 輪 場

レースの使用面積		収容人員	場内総坪数	従事員数	施工工事費
延長	幅員				
333m	9m	10,000人	12,000坪	396人	27,658,000円



市立南小学校

教育委員会機構



委員、職員数

昭和33.11.1現在

委員	職 員	職 員
委員長 根本 龜 雄	教育長	和田 政 見
副委員長 高 橋 豊之進	委員会事務局	15
委 員 佐藤 福治 田尻 芳雄	学校教諭	78
和 田 政 見	学校その他の事務部局	81

教 育 費 (予 算)

年 度	市の予算総額	教育費	総額との%	生徒、児童一人当り額(本年度)
大正13年(市制施行)	762,385	144,279	18.9%	別府市…………… 6,964 円 別府市以外の県下各市平均 4,866 円
昭和33年	726,270,700	135,542,300	18.7%	

幼稚園

昭 33. 11. 1 現在

公 立	私 立	幼稚園数	園 児 数			組 数	一 組 当 り 園 児 数	教 員 数			教員一人当り 園 児 数
			男	女	計			男	女	計	
		10	675	649	1,324	39	34	—	58	58	22.8
		4	179	136	315	11	28.6	—	14	14	22.5
計 (及び平均)		14	854	785	1,639	50	31.3	—	72	72	22.6

小 学 校

昭 33. 11. 1 現在

公 立	私 立	学 校 名	児 童 数			学 級 数	一 学 級 当 り 児 童 数	教 員 数			教員一人当り 児 童 数
			男	女	計			男	女	計	
市 立		野口小学校	881	802	1,683	32	52.6	18	18	36	46.7
"		北 "	743	674	1,417	28	50.6	18	15	33	42.9
"		南 "	677	786	1,463	31	53.7	19	16	35	47.5
"		蓮田 "	966	894	1,860	35	53.1	19	20	39	47.7
"		西 "	792	813	1,605	31	51.8	19	16	35	45.9
"		青山 "	491	514	1,005	20	50.2	13	10	23	43.7
"		石垣 "	465	407	872	18	48.4	12	9	21	41.5
"		亀川 "	956	968	1,924	36	52.9	19	22	41	46.4
"		朝日 "	417	438	855	18	47.5	11	10	21	40.7
"		南立石 "	264	266	530	12	45.8	8	7	15	36.7
"		東山 "	50	65	115	4	28.7	3	1	4	28.8
"		天間 "	49	26	75	3	25.0	2	1	3	25.0
"		枝郷分教場	24	24	48	2	24.0	1	1	2	24.0
"		山ノ口 "	29	20	49	2	24.5	1	1	2	24.5
"		湯山 "	13	10	23	2	11.5	1	1	2	11.5
私 立		明星小学校	39	118	157	6	26.2	2	9	11	14.3
計 (及び平均)			7,056	6,825	13,881	280	49.6	180	157	323	42.9

註. 野口小学校に特殊学級あり (男11, 女14, 計25 学級数2, 教員2)  
養護施設豊肢園(財団法人) (男34, 女34, 計68 学級数6, 教員5)

中 学 校

昭 33. 11. 1 現在

公 立	私 立	学 校 名	生 徒 数			学 級 数	一 学 級 当 り 生 徒 数	教 員 数			教員一人当り 生 徒 数
			男	女	計			男	女	計	
市 立		山ノ手中学校	749	668	1,417	26	54.5	29	7	36	39.4
"		青山 "	581	597	1,178	23	51.2	26	5	31	38.0
"		中部 "	395	376	771	15	51.4	19	3	22	35.0
"		北部 "	493	483	976	20	48.8	23	6	29	33.7
"		浜脇 "	444	414	858	17	50.5	19	5	24	35.8
"		朝日 "	164	169	333	8	41.6	10	2	12	27.8
"		東山 "	43	32	75	3	25.0	5	1	6	12.5
"		天間 "	15	16	31	2	15.5	5	0	5	6.5
私 立		明星 "	—	87	87	4	21.7	4	14	18	4.8
計 (及び平均)			2,884	2,842	5,726	118	48.5	140	43	183	31.3

註. 青山中学校の管轄に特殊学級あり (男4, 女3, 計7, 教員1)  
養護施設豊肢園 (財団法人) (男7, 女8, 計15, 教員4)

運動場面積 (市立小、中)

昭 33. 11. 1 現在

小 学 校	中 学 校
21,606坪 (71,408平方米)	24,107坪 (79,674平方米)

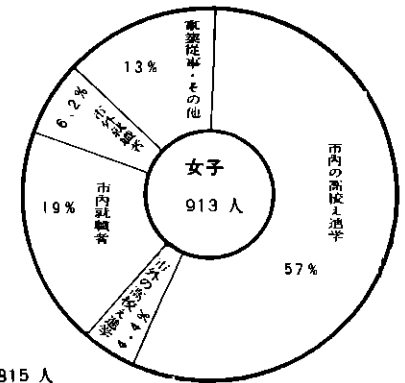
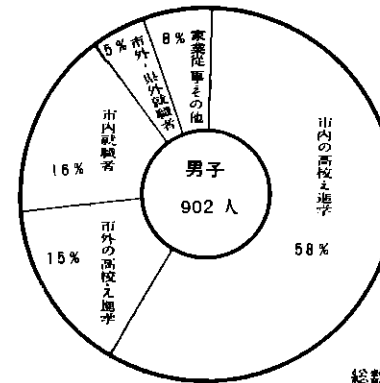
児童、生徒一人当り運動場面積

昭 33. 11. 1 現在



中学校卒業者の進路

昭和33年卒業生



総数 1,815人

高 等 学 校

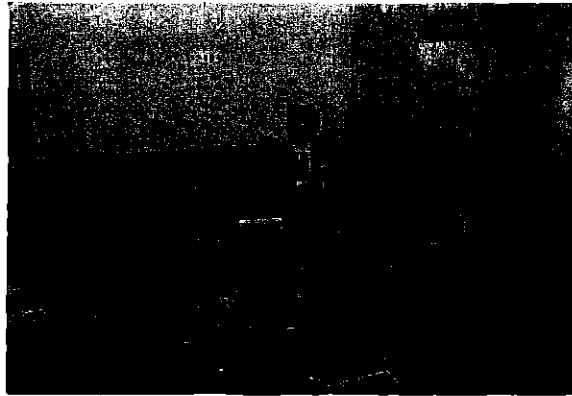
昭 33. 11. 1 現在

公 立	私 立	学 校 名	生 徒 数			学 級 数	一 学 級 当 り 生 徒 数	教 員 数			教員一人当り 生 徒 数
			男	女	計			男	女	計	
県 立		別府鶴見ヶ丘高等学校	711	398	1,109	21	52.8	36	3	39	28.4
"		(定時制)	126	19	145	4	36.3	4	7	11	13.2
"		別府緑ヶ丘高等学校	320	780	1,100	24	45.8	40	12	52	21.2
市 立		別府商業高等学校	246	177	423	8	52.9	16	2	18	23.5
私 立		別府大学附属高等学校	305	254	559	11	50.8	24	10	34	16.4
"		明星学園高等学校	—	224	224	6	37.3	9	12	21	10.6
計 (及び平均)			1,482	1,675	3,137	68	47.5	113	44	157	19.9

大 学

昭 33. 11. 1 現在

公 立 別	学 校 名	部 別	学 生 数			教 授 数		
			男	女	計	男	女	計
私 立	別 府 大 学	大 学 部	87	41	128	38	10	48
		短 期 大 学 部	88	135	223			
		付設 自由ヶ丘幼稚園 教員養成所	—	57	57			



市立商業高校のタイプライター実習室

公 民 館

昭 33. 11. 1 現在

本 館	地 区 館	町内分館	運営審議員 委 員	館 長	主 事	事務職員	その他の職員
1	5	53	21	荒 波 忠 夫	1	5	2

活 用 状 況

昭 32. 4~昭 33. 3

区 分	大 ホ ー ル		講 座 室		会 議 室		そ の 他	
	開 催 数	利 用 者 数	開 催 数	利 用 者 数	開 催 数	利 用 者 数	開 催 数	利 用 者 数
公民館行事	10	10,000	180	18,000	200	6,000	200	5,000
外部行事	50	40,000	30	3,000	30	900	—	—
共催行事	15	11,000	20	2,000	20	600	—	—
計	75	61,000	230	23,000	250	7,500	200	5,000

文 化 団 体

昭 33. 11. 1 現在

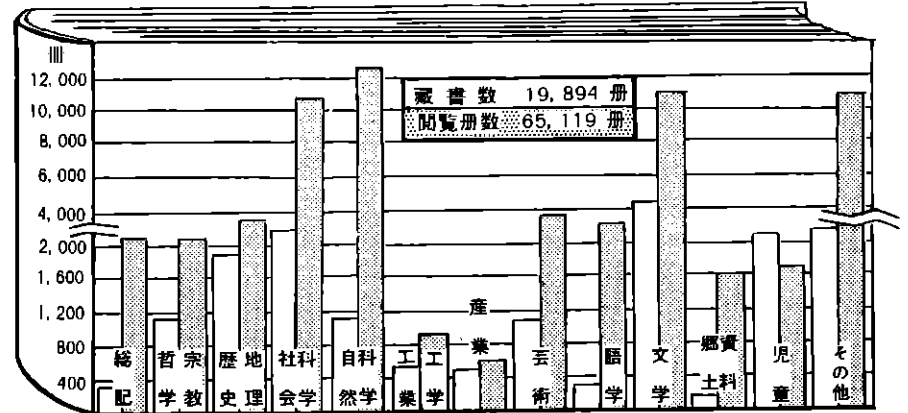
名 称	団 体 数, 人 員
芸 能 ク ラ ブ	各単位団が合計 165団体 人員合計 20,000人
音 楽 同 好 会	
リ ー ダ ク ラ ブ	
一 般 文 化 団 体	
子 供 会 会	
婦 人 会 会	
青 年 会 会	



公 民 館 正 面

図書館、蔵書数と閲覧延冊数

昭 32. 4~33. 3

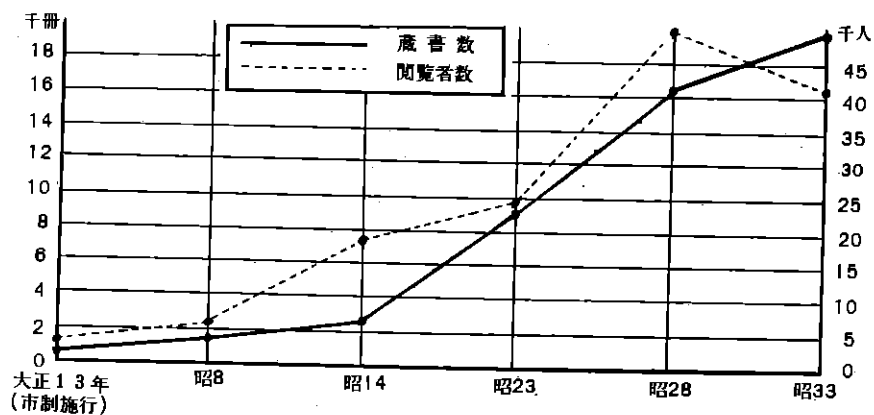


職業別閲覧者数

昭32.4~昭33.3

区分	児童	学生	公務員	宗教家	著述家	法医学業務	農林業	水産業	鉱工業	商業	交通業	その他	有業者	無業者	計
男	1,836	18,187	535	192	22	149	1,386	2,065	1,557	25,929					
女	4,586	10,123	—	—	—	—	—	—	132	15,060					
計	6,422	28,310	535	192	22	149	1,386	2,197	1,778	40,989					

蔵書と閲覧者の増加状態

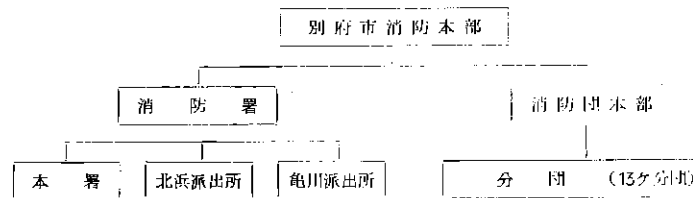


図書閲覧室



新装なつた消防署庁舎

消防機構



消防署職員数

昭33.11.1 現在

消防長	消防司令	消防副司令	消防士	消防士	消防士	その他	計	
市長(兼)	1	2	2	9	28	12	3	57

消防団員数

昭33.11.1 現在

団長	副団長	分団長	団本部	副団長	班長	副班長	団員	計
1	2	13	1	21	59	53	302	452

(別府市消防署調)

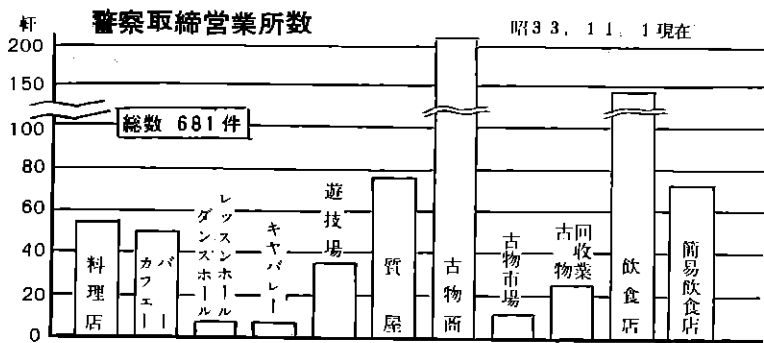
消防機械

昭33.11.1 現在

区分	水目ボ	電動ポンプ	手動ポンプ	照明車	手ガソリンポンプ	可搬動力ポンプ	腰ポンプ	二輪車	計
消防署	—	1	7	1	—	2	—	—	11
消防団	—	—	3	—	5	7	7	5	27
計	—	1	10	1	5	9	7	5	38

(別府市消防署調)

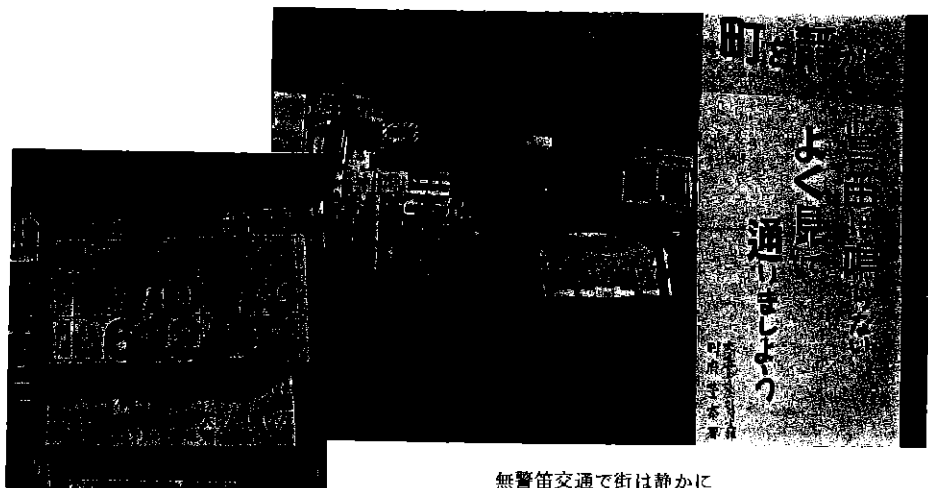




交通事故発生件数

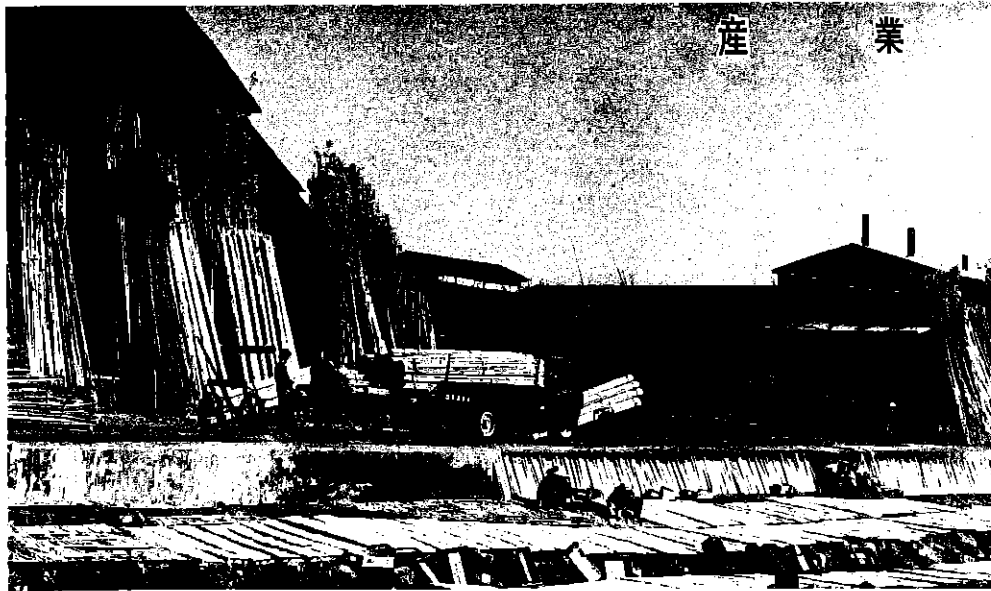
昭和32.10 ~ 昭和33.9

区分	歩行者	自転車	オートバイ スクーター	自 三 輪 車	電 車	汽 車	そ の 他	計
件数	3	16	82	95	3	7	59	263
負傷	3	15	86	81	1	6	57	249
死亡	—	1	3	10	2	3	7	28



無警笛交通で街は静かに

気をつけよ!! 交通事故標示板



特産、竹製品の生産母体たる製竹工場

商業、サービス業について 本市は温泉観光都市として発展したため観光客を対象とした土産品関係、市民の日常消費を対象とした一般商店で形成され、その他の商業部門及び観光客以外の外来者による販売購買量は僅少であるがそれがため街は派手であり華麗である。旅館、その他サービス業、娯楽業はその数、規模共に大であり亦主要商店街は総てアーケードを施し、その美観、その情緒特に観光都市別府ならではの観がある。

工業について 完全なる消費都市のため工業部門は低調であるが但し特筆すべきものに竹材による各種製品の生産がある。これは家庭工業の振興と土産品改善等と相俟つて益々発展し国内は勿論況く海外に輸出され我國竹製品工業の王座を占めている。

農業について 消費地を抱えている関係上蔬菜栽培が盛んであり、特色あるものに地熱利用の蕪菜、里菜等の促成栽培がある。

産業大分類別事業所数

昭和32.7現在

大分類別	事業所数	% 百分比	総従業者数	大分類別	事業所数	% 百分比	総従業者数
A 農 業	2,250	24.8	12,805	H 金融、保険業	127	1.4	775
B 林 業	15	0.16	99	I 不動産業	32	0.35	73
C 漁業、水産養殖業	147	1.6	882	J 運輸、通信業	119	1.3	1,484
D 鉱 業	14	0.15	125	K 電気、ガス、水道業	6	0.07	175
E 建 設 業	244	2.7	1,182	L サービス業	2,004	22.1	7,852
F 製 造 業	818	9.1	3,747				
G 卸売、小売業	3,296	36.5	11,395	計	9,072	100	40,583

商 業

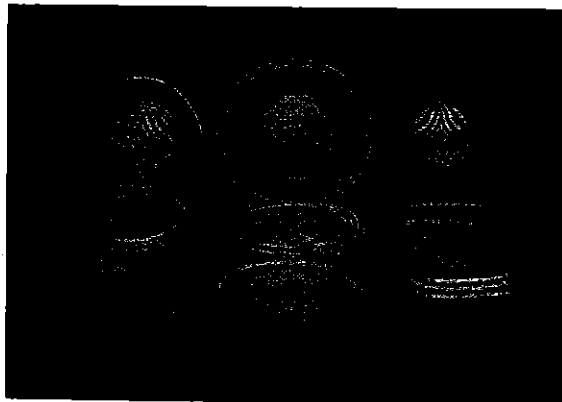
昭 32. 7 現在

中 分 類 別	店 舗 数	% 百分比	総従業者数	備 考
40. 一 般 卸 売 業	328	9.9	2,361	年間販売額 11,723,160 千円 県下11市中の第2位でその割合は 約 19.3% である
42. 代 理 商、仲 立 業	6	0.16	16	
44. 織物、衣服、身廻品小売業	300	9.1	1,100	
45. 飲 食 料 品 小 売 業	1,265	38.3	3,161	
46. 飲 食 店	599	18.2	2,371	
47. 自 転 車、荷 車、小 売 業	29	0.89	93	
48. 家 具、建 具、什 器 小 売 業	205	6.2	646	
49. そ の 他 の 小 売 業	566	17.2	1,647	
計	3,288	100	11,385	



全国一の長さで華麗を誇る銀天街は商業面だけでなく観光面にも大きな役割を果している。

本市の竹製品は質、量共に全国竹製品工業の王座にある。



商店街・昔と今



市制施行の祝賀装飾と賑いぶり  
(秋葉通り三丁目附近)



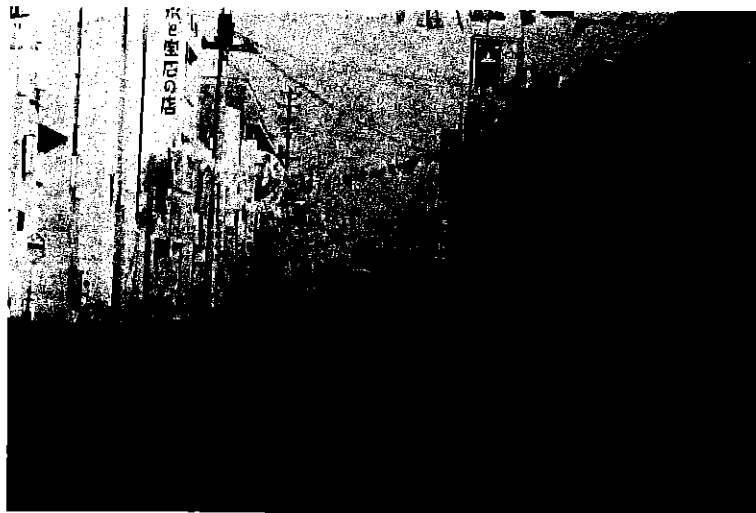
現在の全所附近



商店街・昔と今



別府町（大正5年頃）当時の流川通り三丁目附近



現在の全所附近

工業

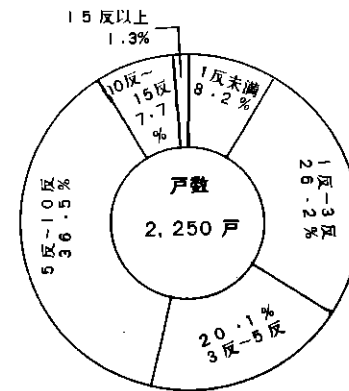
昭 32. 7 現在

産業中分類別	事業所数	% 百分比	総従業者数	備 考
18. 食料品、製造業	228	27.9	1,280	年間生産額 1,337,345 千円 県下11市中の第8位でその割合は約3.3%である。
23. 家具、装備品製造業	49	6.0	217	
24. パルプ、紙、紙加工品製造業	15	1.8	79	
25. 出版、印刷、同関連産業	36	4.4	311	
26. 化学工業	9	1.1	82	
27. 石炭製品製造業	1	0.1	18	
29. 皮革、同製品製造業	5	0.6	16	
30. 窯業、土石製品製造業	16	1.9	102	
31. 鉄鋼業	1	0.1	11	
33. 金属製品製造業	9	1.1	62	
34. 機械製造業	7	0.9	71	
35. 電気機械器具製造業	1	0.1	6	
36. 輸送用機械器具製造業	2	0.2	5	
37. 計量、測定、医療機械	2	0.2	11	
39. その他の製造業	38	4.6	217	
20. 繊維工業	10	1.2	40	
21. 衣服その他の繊維製品製造業	4	0.5	26	
22. 木材、木製品製造業	385	47.0	1,194	
計	818	100	3,748	

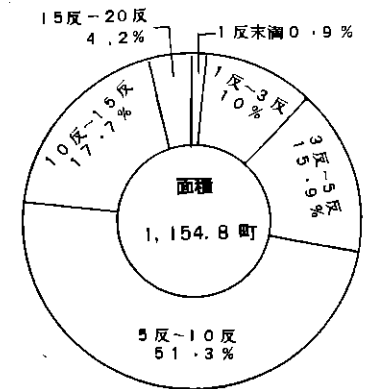
農業、耕地面積

昭 33. 9 現在

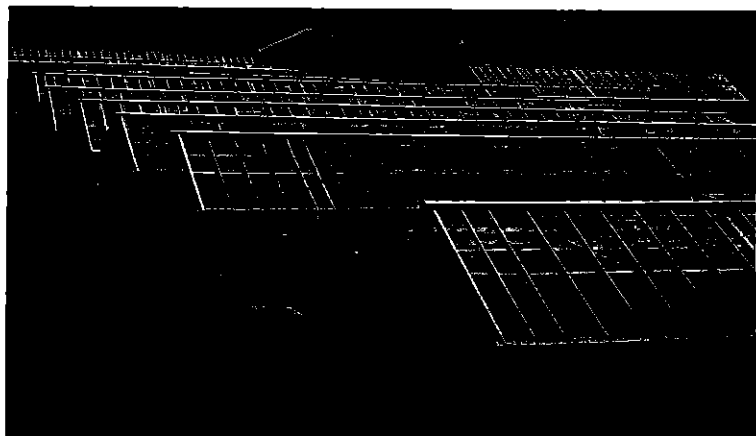
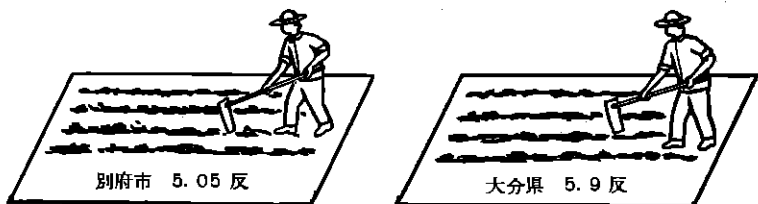
地区	田		小計	畑		小計	果樹園	茶園	計
	一毛作田	二毛作田		普通畑	閉墾畑				
全地区	町 348.7	町 441.3	町 790	町 268.5	町 76.7	町 345.2	町 17.3	町 2.6	町 1,154.8



経営耕地広狭別



一戸当り耕地面積



地熟利用による野菜、果実、花の促成栽培場

農家の二三男状況

昭 33. 9 現在

区分 年齢階級別	総 数	主として従事している仕事の種類						希 望				
		自家 農業	農業以 外の自家 産業	事務 技術 職員	常日 労働者	学 生	その他	計	耕地を 分けて 分 家	婿又は 養 子	就 職 したい	未 定 その他
才 未 満												
16 - 18	431	72	5	30	1	201	48	357	9	1	42	22
18 - 20	141	48	2	29	—	23	19	121	2	—	11	7
20 - 23	202	65	3	70	1	6	24	169	2	10	12	8
23 - 25	129	50	7	37	1	—	7	102	3	2	12	10
25 - 27	87	49	1	18	—	—	9	77	—	2	2	4
27 - 30	80	47	3	17	—	—	4	71	4	2	—	—
30 - 32	50	41	—	7	—	—	—	48	—	2	—	—
32 以上	206	153	15	22	—	—	13	203	1	2	—	—
計	1,328	525	38	230	3	238	124	1,148	21	21	78	51

林業、林野面積及び蓄積量

昭 33. 9 現在

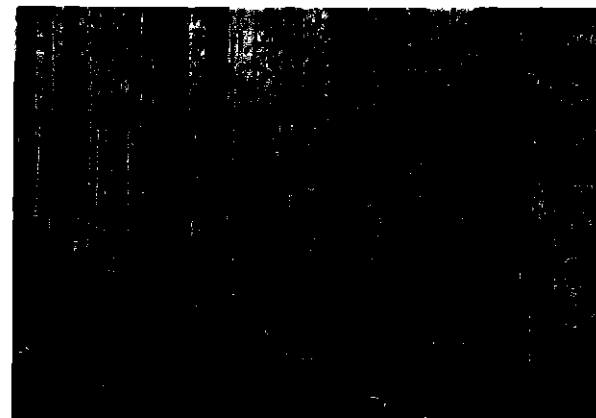
区分 樹 種	市 有 林		会 社 有 林		個 人 有 林		計	
	面 積	蓄 積 量	面 積	蓄 積 量	面 積	蓄 積 量	面 積	蓄 積 量
ス ギ	392.1	129,393	893.0	29,469	—	2,075	1,285.1	—
ヒ ノ キ	280.9	92,697	15.0	495	(不 明)	232	295.0	—
ク ロ マ ツ	158.3	52,239	23.0	891	—	2,547	181.3	—
カ ラ マ ツ	12.0	0	—	—	—	—	12.0	—
ク ヌ ギ	257.9	38,685	20.0	—	—	—	277.9	—
タ ケ	25.0	7,500	—	—	—	14,500	25.0	—
雑 種 林	5.0	500	15.0	1,500	—	—	20.0	—
計	1,141.2	—	966.0	32,355	—	—	2,088.2	—

註、本市の市有林面積は全国市町村公有林中第2位

林野所有規模別世帯数

昭 33. 9 現在

反 階 級 別	世 帯 数	百 分 比	面 積
1反 - 3反未満	149	23.0%	387反
3 - 5	115	19.0	529
5 - 10	98	15.0	451
10 - 50	32	5.0	1,932
50 - 100	25	4.0	2,200
100 - 300	3	0.5	810
300 - 500	3	0.5	1,440
500 以上	2	0.3	6,400
計	633	100	14,302



素晴らしい発育!!  
市有三十年生杉林の一部

水産、漁家、漁船数

昭 32. 9 現在

区分	無動力船		動力船		組合		組合員数
	5吨以下	5吨以上	5吨以下	5吨以上	別	府川部	
147戸	297	—	162	2	別	府川部	259名
専業漁家					北	部	76名
							75名



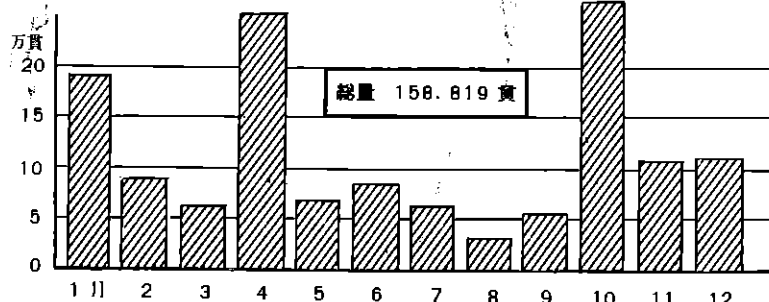
十一万市民の台所を賄う  
早朝の魚市場風景

沿岸漁獲高及び魚市場総取扱高

昭 32. 1 - 12

沿岸漁獲高 (地元)		魚市場 (総体)	
数量	金額	数量	金額
158,819 貫	41,048,480 円	1,049,139 貫	309,889,000 円

月別漁獲高 (沿岸)



主要食品消費量

(単位 Kg)

昭 32. 4 ~ 33. 3

品 目	内地米	外地米	蔬菜	鮮魚
消費量	8,446,064	1,584,192	10,482,360	4,582,775

屠 畜

昭 32. 4 ~ 33. 3

種 別	牛	馬	豚	その他
頭 数	965	151	1,248	26

煙草消費量

(単位 千本 千円)

昭 32. 4 ~ 33. 3

品 目	数 量	金 額	品 目	数 量	金 額
朝 日	1,236.4	1,854.6	新 生	73,606.8	147,215.6
富 士	549.1	2,745.5	バ ッ ト	15,233.2	22,849.8
ビ ー ス	17,324.3	69,297.2	刻 ミ	4,602.6 Kg	8,158.39
光	7,406.9	22,220.7	ア ス ト リ ア	2.3	69.0
パ ー ル	3,098.5	9,295.5	桃 山	46.95 Kg	140.85
い こ い	38,438.8	96,097.0	日 光	72.4 Kg	90.5
み ど り	4,015.36	10,034.0			

(日本専売公社別府出張所調)

酒類消費量

(単位 リットル)

昭 32. 4 ~ 33. 3

品 目	清 酒	合成清酒	焼 酎	みりん	ビール	果実酒	雑 酒
消費量	178,192.4	58,068.8	371,804.4	6,494.4	27,849.4	262.8	92,725.6

(別府税務署調)

電灯、電力需用概況

種 別	契約口数	契約灯数 KW数	電 力 量	料 金	
電 灯	定額電灯	8,021	15,568 灯	2,220,721	27,315,199
	従量電灯	38,361	327,420 灯	17,567,066	207,943,473
	大口電灯	434	3,420KW	3,598,045	44,324,876
	臨時電灯	92	232 灯 8KW	57,976	705,705
	計	46,098	343,220 灯 3,428KW	23,443,808	280,289,253
電 力	業務用電力	24	1,494KW	1,826,681	18,030,543
	小口電力(50KW未満)	1,710	7,383	5,503,848	56,295,501
	小口電力(50KW以上)	12	1,296	4,171,258	22,038,380
	臨時電力	44	393	193,406	2,840,386
	計	1,790	10,566	11,695,193	99,204,810
合 計	48,688	343,220 13,994	35,138,001	379,494,063	

(九州電力別府営業所調)

註 契約口数及び契約灯数KW数は昭和33年10月現在需用数である  
電力量及び料金は昭和32年11月分より33年10月まで一ケ年間の実績である  
本需用概況は九州電力株式会社別府営業所管内の需用実績数である

ガ ス

昭 32. 4 ~ 昭 33. 3

区 分	供給戸数	孔 口 数	供 給 量	料 金
家 庭 用	2,435	4,670	1,019,344 m <sup>3</sup>	19,571,479 円
工 業 用	2	38	67,937	1,108,240
医 療 用	54	162	93,132	1,746,296
商 業 用	366	915	772,135	14,472,379
そ の 他	8	35	12,668	227,003
計	2,865	6,020	1,965,230	37,125,397

(別府ガスKK調)

水 量

(単位 立方米)

昭 32. 4 ~ 33. 3

地 区	別府地区	龜川地区 (北石垣・上人)	朝日地区 (柴石・野田・羽室)	計
消費量	7,364,924	1,047,862	564,473	8,977,259

給水栓数及び世帯数

昭 33. 12 現在

	専用私設・共用栓	公設栓	温泉栓	船舶栓	消火栓	給水戸数	人 員
別府地区	7,985	177	57	4	515	18,789	79,452
龜川地区	1,797	38	13	—	96	1,548	6,549
朝日地区	448	9	3	—	32	67	298
計	10,230	224	73	4	643	10,670	86,299

水 道 用 地

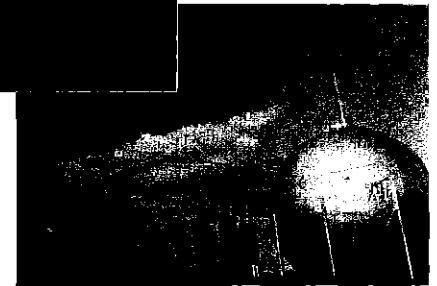
(単位 平方メートル)

昭 33. 12 現在

地 区	別府地区	龜川地区	朝日地区	計
用地面積	89,648.1	17,153.7	30,185.1	136,986.9



市街を眼下に見下す乙原水源



別府ガスKKの大型タンク

ラジオ・テレビ

昭 33. 10. 1 現在

種 別	ラ ジ オ	テ レ ビ
契 約 台 数	16,434	352

(N.H.K大分放送局調)

映 画 ・ 演 劇

昭 33. 12 現在

区 分	館 数	取 客 人 員	年 間 入 場 人 員
邦 画 封 切	10	4,861	1,323,000
洋 画 封 切	1	482	148,000
邦 画 再 映	11	2,440	1,144,000
洋 画 再 映	2	342	211,000
演 劇	2	860	35,000

(別府税務署調)



娯楽のオアシス市内映画館街



ほえましい子供銀行預金風景

金 融 機 関

昭 33. 12 現在

普通銀行	信用庫金	相互銀行	郵便局	農 協	生 命 保 險 会 社	火 災 海 上 保 險 会 社	証 券 会 社	質 屋
10	7	5	10	4	7	11	8	77

銀 行 預 金

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	当座預金	普通預金	通知預金	納 税 準 備 預 金	定期・据置預金	定期積立預金	その他
金 額	478,063	786,285	38,795	3,632	1,751,796	291,507	27,644

(大分県銀行協会調)

銀 行 貸 付

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	手形貸付	証書貸付	当座貸付	割引手形	貸出合計
金 額	1,233,511	22,580	10,294	243,670	1,510,055

(大分県銀行協会調)

信用金庫・相互銀行諸勘定

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	当座預金	普通預金	通知預金	定期預金	定期積金	相互掛金	政府関係預金	その他
金 額	119,610	410,834	6,342	1,047,403	272,253	768,343	3,043	13,695

(大分県銀行協会調)

信用金庫・相互銀行諸勘定

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	手形貸付	証書貸付	当座貸付	割引手形	給付金
金 額	1,386,889	49,518	3,107	86,116	651,646

(大分県銀行協会調)

郵便貯金・振替貯金・爲替

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	貯 金		振 替 貯 金		為 替	
	受 入	払 出	受 入	払 出	受 入	払 出
金 額	28,880	28,359	39,820	5,235	7,612	7,174

(別府郵便局調)







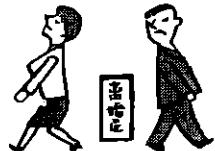




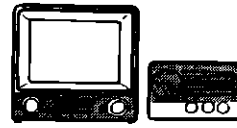




農 協 諸 勘 定

(単位 千円) 昭 33. 3 現在

区 分	借 入 金	預 金	貸 付 金	組 合 員 数
金 額	4,227	33,889	12,365	1,328

(別府・亀川・石垣・朝日農協調)

昭32・4～33・3

<p>出生</p>  <p>1日 3.25人</p>	<p>転入 転出</p>  <p>1日 転入 30.4人 転出 31.7人</p>
<p>婚姻</p>  <p>1日 1.74組</p>	<p>食品</p>  <p>1日 野菜一人に 275g 魚介一人に 120g</p>
<p>死亡</p>  <p>1日 2.64人</p>	<p>観光客</p>  <p>1日 8,000人</p>
<p>離婚</p>  <p>3日 1組</p>	<p>映画</p>  <p>1人年間 27.4回</p>
<p>市吏員</p>  <p>市民 113人に1人</p>	<p>煙草</p>  <p>1日 1,068,675円</p>
<p>警察官</p>  <p>市民 853人に1人</p>	<p>ラジオ テレビ</p>  <p>ラジオ 1.46世帯に1台 テレビ 68世帯に1台</p>
<p>消防員</p>  <p>常勤 1,827人に一人 非常勤 230人に一人</p>	<p>火災</p>  <p>46.2日に1件</p>
<p>市民税</p>  <p>市民1人に710円36</p>	<p>温泉</p>  <p>一昼夜 72,000円 (40万石)</p>



肢体不自由児収養施設 別府 整肢園

生活保護法による保護状況

(単位 円)

昭32.4～33.3

扶助種目	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	葬祭扶助	生業扶助	施設事務費
世帯数	7,995	4,420	3,662	6,317	9	91	6	1,216
人員	21,116	13,765	7,070	6,994	9	91	6	1,216
支出金額	18,569,551	2,062,035	2,456,779	42,563,659	20,538	221,143	45,416	2,660,852

行路病

(単位 円)

昭32.4～33.3

種別	行路病人	行路死亡人
員数	45	27
金額	365,994	90,401

母子福祉資金

(単位 円)

昭32.4～33.3

資金種目	生業資金	雑種資金	修学資金	交際資金	住宅補修資金
件数	7	15	14	11	2
支出金額	265,000	365,000	462,000	145,000	60,000

公 営 住 宅

昭 33. 12 現 在

住 宅 種 目	戸 数	収 容 人 員
庶 民 住 宅	118	472
災 害 住 宅	61	244
母 子 住 宅	20	60
引 揚 者 住 宅	107	428
勞 務 者 住 宅	12	50

社 会 事 業 施 設

昭 33. 12 現 在

施 設 名	種 別	定 員	現 在 数	職 員 数	經 営 主 体	施 設 長 名	創 立 年 月 日	所 在 地
別府市中央保育所	保 育	150	150	11	市	荒 金 啓 治	昭 26. 6. 18	南末広区
別 府 隣 保 館	"	130	130	8	団 体	首 藤 得 雄	昭 3. 5. 1	富士見区
さくらんぼ保育園	"	52	52	5	財団法人	永 見 潔	昭 27. 6. 10	南野口区
聖 人 保 育 園	"	30	30	4	私	国 東 義 隆	昭 28. 2. 20	上 人 区
亀 川 保 育 園	"	50	50	5	私	高 橋 晃 信	昭 30. 11. 1	亀川中区
鉄 輪 保 育 園	"	60	50	5	財団法人	東 綾 香	昭 33. 5. 1	火 売 区
小百合愛児園本園	"	105	97	23	福祉法人	スクリワノ ジヨウナ	昭 8. 10. 6	浦 田 区
" 分園	兼 護	160	135	25	"	モツタ・マリア	昭 20. 9. 24	上 原 区
光の園白菊寮	"	45	43	9	"	長 田 シ ヅ	昭 21. 9. 1	狂 園 区
平 和 園	"	35	35	6	"	加 藤 正 登	昭 25. 3. 9	北野口区
栄 光 園	"	58	56	10	"	小 郷 小 福	昭 27. 4. 1	莊 園 区
別 府 養 老 院	養 老	60	65	9	"	矢 野 慎 雄	大 14. 10. 5	富 士 見 区
紅 葉 寮	"	40	44	8	"	小 浜 ミサ子	昭 22. 8. 1	山 家 区
別 府 厚 生 館	母 子	8(世)	7	1	"	河 合 藤 七	昭 22. 6. 30	不 老 区
" (新寮)	"	12	12	3	"	河 合 藤 七	昭 32. 1. 1	南末広区
別 府 整 肢 園	医 療	100	100	47	"	飯 田 忠	昭 32. 10. 21	鶴 見 原

募 金

(単位 円)

昭 32. 4 ~ 33. 3

目 標 額			実 績 額		
総 額	共 同 募 金	日 赤 募 金	総 額	共 同 募 金	日 赤 募 金
2,754,040	1,531,040	1,223,000	2,530,013	1,450,292	1,079,721



野口原の  
市営住宅街

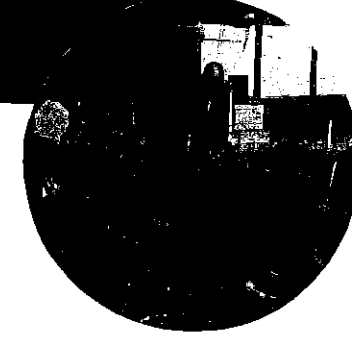


無心に遊ぶ  
保育所の子どもたち



市営失対事業

街頭募金に立つ知事  
別府市長ら



園芸にいそむ養老院の老人たち

安 定 所 へ の 来 所

	32年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規求職	905	1,050	939	1,034	1,010	770	801	848	946	2,034	2,244	1,824
求職再来	3,031	3,394	3,117	3,432	3,285	3,078	3,229	2,812	2,714	4,970	3,684	3,479

(別府職安課)

失業保険受給状況

昭 32. 4 ~ 33. 3

	離職票受付件数	受給資格決定件数	待期満了者数	初回受給者数	失業保険支給受人員	保険金総支給額 円
男	900	946	916	879	6,011	52,104,960
女	521	522	506	467	3,048	14,038,525

市営失対事業稼働状況

(単位 円)

昭 32. 4 ~ 33. 3

事業種目	労力費	事務費	資材費	計	稼働人員
土地整備事業	6,892,513	1,561,970	865,080	9,319,563	26,493
道路整備事業	13,395,021	3,049,412	3,236,610	19,681,043	50,771
水道整備事業	10,631,554	2,421,620	2,016,271	15,069,445	40,547
保健衛生整備事業	3,149,976	71,906	9,570	3,878,606	12,191
資材採取製造事業	787,491	176,439	0	963,930	2,847
管理監督要員	1,787,163	256,302	0	2,043,465	4,928
夏季対策分	448,500	0	0	448,500	—
年末対策分	1,305,920	0	0	1,305,920	—
計	38,388,138	8,184,803	6,127,531	52,710,472	137,787

適用法規別単位労働組合組織状況

昭 33. 12 現在

		労働法適用組合	公企労法適用組合	地方労法適用組合	国公法適用組合	地公法適用組合
組合数		23	6	2	5	4
組合員数	男	1,646	660	15	383	1,046
	女	982	148	40	309	481
	計	2,628	808	55	692	1,527

(大分県労政事務所調)

産業別、男女別、単位労働組合組織状況

昭 33. 12 現在

	建設業	卸小売業	運輸通信業	電気・ガス・水道	サービス業	娯楽業	医療保健業	教育	公務
組合数	3	1	11	2	2	1	2	1	17
男	558	11	550	237	187	55	22	26	2,014
女	474	3	302	19	34	56	75	19	978
計	1,032	14	852	256	221	111	97	45	3,082

(大分県労政事務所調)



医療施設

昭 33. 11. 1 現在

病 院				診療所	歯科診療所	療術業	助産婦業	獣医学業	保健師
個人	法人	公営	法人でない団体						
5	3	8	5	99	54	561	53	4	14

大分県別府保健所調

医療関係従事者数

区 分	医 師	歯科医師	薬剤師	獣 医 師	助産婦	看護婦	保健師	柔整復術師	鍼灸按摩	療術師	衛生師	栄養師	文経士師
大正 13 年	33	11	5	2	17	—	—	—	—	—	—	—	—
昭和 9 年	76	29	43	2	45	73	—	—	365	—	—	—	—
昭和 23 年	172	66	108	8	84	439	15	—	318	—	—	—	—
昭和 28 年	201	68	105	10	82	429	18	22	248	70	1	9	—
昭和 32 年	224	67	115	10	67	485	17	22	502	59	4	130	17

大分県別府保健所調



予防接種実施状況

昭 32. 4 ~ 33. 3

区 分	種 痘	腸パラチフス	百日咳	ジフテリヤ	日本脳炎	流 感
該当人員	6,698人	73,000	2,867	6,698	希 望	希 望
接種完了者	4,565	24,884	1,072	4,313	994	5,773
接種率%	68.1	34	37.4	64.3	—	—

結核予防接種及び健康診断

区 分	該当者数	被検者数	陽性者数	疑 陽 性 者 数	陰 性 者 数	B C G 接種者数	レントゲン		要注患者数
							内 撮 影	直接撮影	
小中学生	19,570	17,150	12,932	637	3,359	3,937	14,846	1,822	196
一般市民	6,500	3,885	2,193	66	568	878	3,867	387	105

別 府 保 健 所 調

法定伝染病発生及び死亡数

昭 32. 4 ~ 33. 3

赤 痢	日本脳炎		腸チフス		パラチフス		ジフテリヤ		猩 紅 熱		流 感		計		
	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	
23	1	19	5	1	—	—	—	7	1	2	—	2	—	54	8

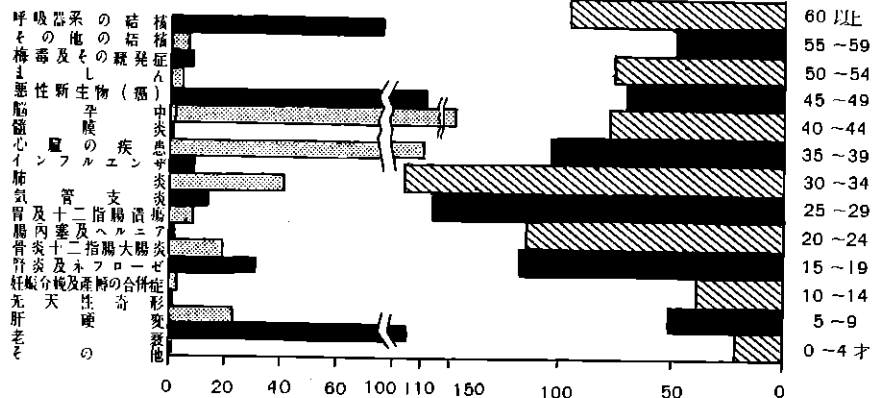
月 別 出 生 数

昭 33. 1 ~ 33. 12

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
男	80	60	49	50	54	48	59	51	50	53	50	60	664
女	80	60	59	64	45	51	60	58	68	56	54	67	722
計	160	120	108	114	99	99	119	109	118	109	104	127	1,386

病名別死亡者数

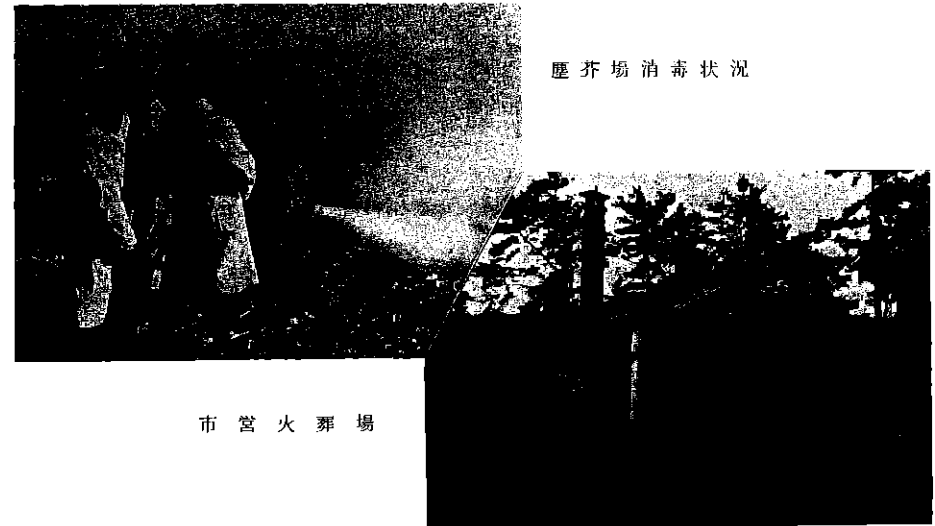
年令別結核発生数



消 毒 状 況

昭 33. 3 現在

区 分	公 共 川 施 設		個 人 用 施 設	
	人 頭 (戸) 数	床 面 積	人 頭 (戸) 数	床 面 積
粉末ダステイキング	465 人	249 坪	2,174 人	45 坪
液体スプレイング	1,407 戸	4,608 坪	1,159 戸	1,117 坪



匪芥場消毒状況

市 営 火 葬 場

埋 火 葬 状 況

昭 32. 4 ~ 33. 3

区分	葬				火 葬				
	市 民	死 産 児	計	一日平均埋葬数	市 民	非 市 民	死 産 児	計	一日平均火葬数
総数	83 人	190 人	273 人	0.75 人	691 人	216 人	362 人	1,269 人	3.48 人

狂 犬 病 予 防 及 び 屠 殺 状 況

昭 32. 4 ~ 33. 3

狂 犬 病 予 防					屠 殺				
登録頭数	予防注射済数	捕獲数	処分数	糞 札 再 交 付 数	牛	馬	豚	猪	仔 馬
2,660	4,582	726	674	40	963	151	1,248	19	7

塵 芥

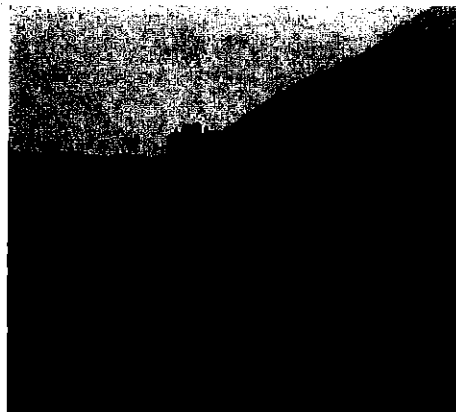
昭 32. 4 ~ 33. 3

塵 芥 搬 出 車 輛 数			塵 芥 搬 出 量	対 象 戸 数	搬 出 人 1 人 当 戸 数
普 通 自 動 車	三 輪 自 動 車	計			
3 台	8 台	11 台	12,380 屯	20,851 戸	615 戸

尿 尿

昭 32. 4 ~ 33. 3

車 輛 数				尿 尿 搬 出 量				対 象 戸 数	搬 出 人 1 人 当 戸 数
市 業 者		業 者		市		業 者			
真 空 式 タ ン ク ( 四 輪 )	真 空 式 タ ン ク ( 三 輪 )	真 空 式 ポ ン プ 車	普 通 タ ン ク 二 輪 車	市 貯 留 槽	農 家 元 計	市 貯 留 槽	農 家 元 計	18,908	590
5 台	1 台	6 台	11 台	石 9,000	石 74,760	石 74,760	石 14,700		
				石 83,760	石 89,460				



山田貯留槽全影



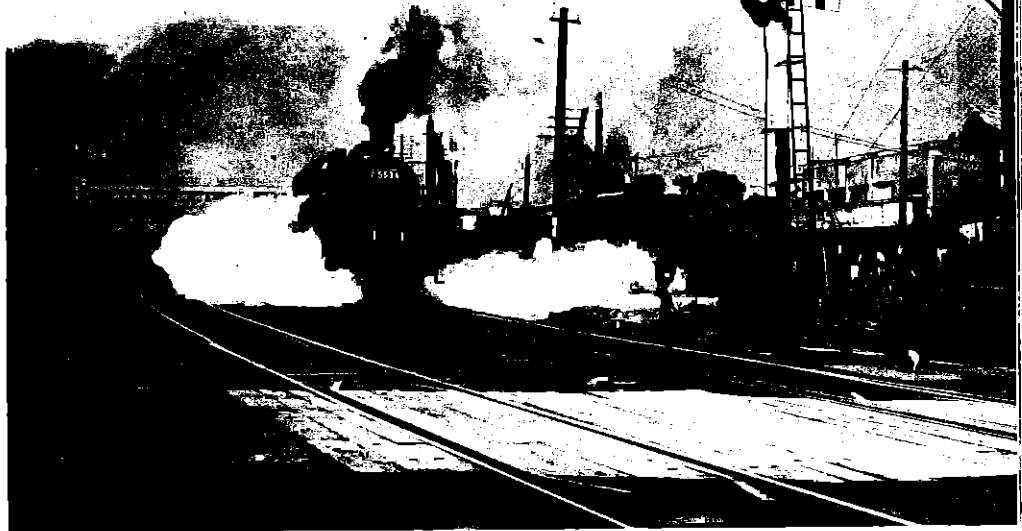
尿 尿 車



塵 芥 場



市 内 塵 芥 搬 出 状 況



本市の交通路は陸海共に地形にめぐまれ陸は電車バスの路線は勿論陸の玄関ともいわれる日豊線別府駅を起点とする。上りは小倉、門司を経て阪神速くは関東方面まで下りは大分駅より宮崎、鹿児島へ通じ大分經由豊肥線（熊本、佐賀、長崎）及び久大線（福岡）を結ぶ九州各地との交通も多く亦海では関西汽船による阪神地方或は中国、四国その他海上遠隔地とも連絡をもち海の玄関ともいう交通機関は観光法と共に一層発展して行くと思う。

道 路

昭 32. 10. 1 現在

区 分	種 別	延 長	内 駅			舗 装 延 長	非 舗 装 延 長	全 道 路 対 する 舗 装 道 路 の 比
			10m 以上	9m ~ 6m	5m 以下			
国 道		26,290	14,460	11,830	—	14,927	11,363	56.7
県 道		44,176	451	20,354	20,371	10,568	33,608	23.9
市 道		611,705	11,953	82,463	517,289	35,563	576,141	5.8
計		882,171	28,864	117,847	537,660	61,058	621,112	88.4

大分県別府土木事務所調

橋 梁

昭 32. 10. 1 現在

構 造 種 別	市 道		県 道		国 道	
	数	総 延 長	数	総 延 長	数	総 延 長
木 橋	41	420	11	135.6	—	—
石橋及びコンクリート	33	476	17	242.3	20	228.2
計	74	896	28	377.9	20	228.2

大分県別府土木事務所調

国鉄年別乗降客数

年別	乗客数				降客数			
	別府駅	東別府駅	亀川駅	計	別府駅	東別府駅	亀川駅	計
大正13年	579,957	281,751	—	861,708	601,368	250,389	—	851,757
昭和10年	433,430	98,797	84,809	617,036	468,050	97,501	89,909	655,460
昭和23年	2,147,067	440,601	351,365	2,939,033	2,094,867	305,927	375,548	2,776,342
昭和28年	1,873,405	363,824	360,655	2,597,884	1,926,414	293,895	392,042	2,612,351
昭和32年	2,094,848	315,092	349,398	2,759,338	2,132,340	259,691	367,307	2,751,338

大分鉄道管理局調

貨物発着数

昭和32.4～33.3

駅名	貨物				手小荷物			
	昭和32年度		一日平均		昭和32年度		一日平均	
	発送屯数	到着屯数	発送屯数	到着屯数	発送個数	到着個数	発送個数	到着個数
別府駅	16,847	60,753	46.1	166.4	61,248	189,325	168	519
東別府駅	277	281	0.8	0.8	6,868	5,986	19	16
亀川駅	3,346	7,205	9.2	19.7	11,122	28,372	30	78
計	20,470	68,239	56.1	186.9	79,238	223,683	217	613

大分鉄道管理局調



はなやかな  
別府駅の開通式  
(明治44年)



現在の別府駅

入港船舶吨数階級別

昭和32.10現在

種別	汽船		帆機船		帆船		計	
	隻数	総屯数	隻数	総屯数	隻数	総屯数	隻数	総屯数
3,000屯未満	1,736	1,508,309	—	—	—	—	1,736	1,508,309
500屯未満	—	—	196	36,774	—	—	196	36,774
100屯未満	—	—	—	—	303	91,415	303	91,415
計	1,736	1,508,309	196	36,774	303	91,415	2,235	1,636,498

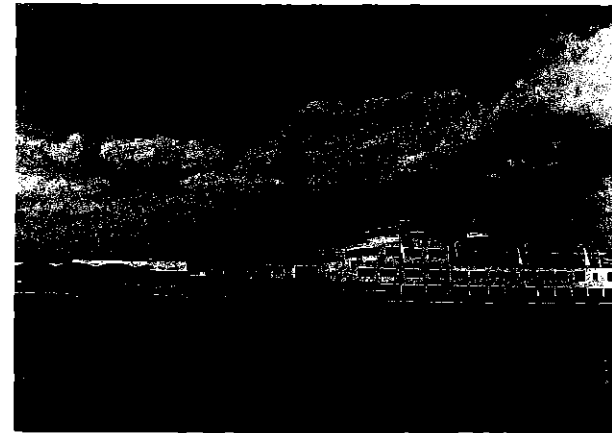
大分県別府土木事務所調

航路別乗降人員

昭和32.11～33.10

航路別	乗込人員	上陸人員	計
別府～大阪線	232,727	201,978	434,705
別府～呉、広島線	26,418	29,378	55,796
別府～宇和島線	69,325	58,257	127,582
別府～宿毛線	85	12,265	12,350
計	328,555	301,878	630,433

関西汽船KK調



海の玄関 別府港

諸車台数

昭和32.10.1現在

種別	区分	乗用車	バス	小型乗用車	スクーター 二輪車	トラック	小型三輪車	特殊車	消防車	小型貨物車	単車	計
官公庁用		16	3	2	14	23	15	16	14	2	8	113
自家用		63	—	41	943	146	537	29	—	47	162	1,860
営業用		48	93	100	—	66	20	2	—	1	11	341
総合数		127	96	143	957	235	572	47	14	50	181	2,422

大分県別府県税事務所調

貸切バス

昭 32. 10. 1 現在

区 分	総走 杆 数	輸 送 人 員	実 在 数	延 実 働 車 数
大 分 交 通 電 の 井 バ ス	755,383 K	1,075,680 人	48 台	20,040 台



昭和10年頃の遊覧バス

(当時の解説) 毎日数十回の地獄巡りを専門とするK会社の大型遊覧自動車は大は、二十五人乗小は十五人乗にして車室は鉄骨軽鋼張にロマンス式の座席を備へ、銀地にコバルト緑の色彩は意匠登録を経たるもの教養ある女車掌之に乗組み車中に於て逐一沿道の名勝を解説する



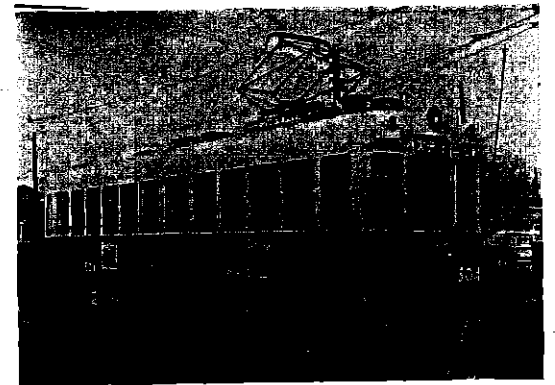
観光バス内部 (デラックスバス)



観 光 バ ス



別大電車開通当時



現在の別大電車

郵 政 施 設 数

昭 33. 11. 1 現在

普 通 局	集 配 特 定 局	無 集 配 特 定 局	郵便切手 収入印紙 売 所	ポ ス ト
1	1	8	114	108

別 府 郵 便 局 調

郵 便 取 扱 数

区 分 年 次	普 通 郵 便		特 殊 郵 便		小 包 郵 便	
	引 受	配 達	引 受	配 達	引 受	配 達
大 正 13 年	4,575,121	4,148,844	53,930	73,381	54,299	70,852
昭 和 9 年	4,724,978	4,620,495	74,922	94,619	67,537	99,882
昭 和 23 年	4,155,160	4,489,965	54,399	104,538	64,620	68,525
昭 和 28 年	4,237,233	4,688,750	179,977	280,033	69,808	111,090
昭 和 32 年	5,134,455	5,782,695	230,367	363,296	93,482	141,682

別 府 郵 便 局 調

電信電話施設

昭 33. 11. 1 現在

電 報				電 話			
直 営 局	委 託 取 扱 所	サ ー ビ ス テ イ シ ョ ン	簡 易 委 託 受 付 所	電 話 局	電 委 託 局	公 衆 電 話	簡 易 公 衆 電 話
2	9	1	59	1	9	55	23

電話通話数

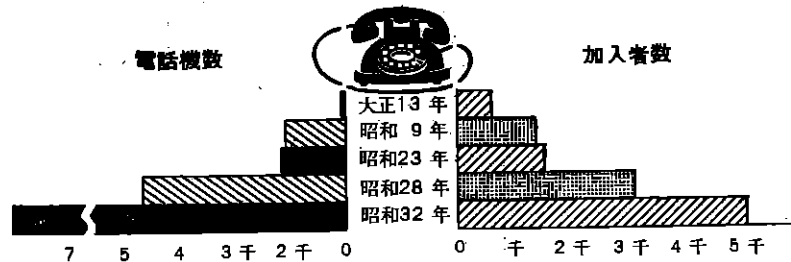
昭 32. 11 ~ 33. 10

電 話 回 線 路		市 外 通 話 度 数		
市 内	市 外	発 信	着 信	中 継
5,270	143	1,361,907	587,479	41,195

別 府 電 話 局 調

電話機数

加入者数

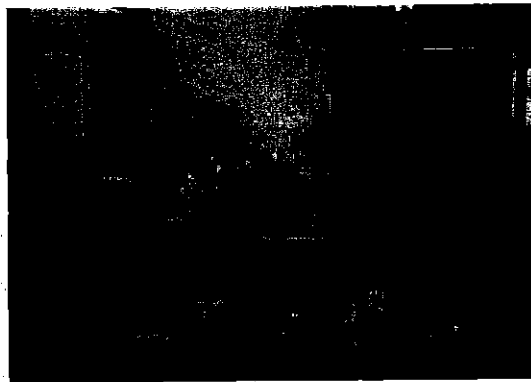


電報取扱数

昭 32. 4 ~ 33. 3

発 信		着 信		中 継		計	
内 国	外 国	内 国	外 国	内 国	外 国	内 国	外 国
147,144	65	131,030	57	132,322	6	410,496	128

別 府 電 報 局 調



電 報 局 内 部

温 泉



温 泉

本市は世界公園と称へられる阿蘇及び瀬戸内海に連なる温泉郷で、泉質の多種多様と泉量の豊富なることは蓋し世界第一と云はれる。この別府温泉の起源は遠く神代にありと云われ、豊後風土記並び伊予風土記に少彦名命が大分、速見の湯を浴んで去已貴命に浴せしめて、その病を癒したとあり、その後聖徳天皇の御代に日子三依が別府に温泉を開いて薬師堂を建てたと伝わっている。現在別府市は天与の温泉と景趣さまざまな自然美に恵まれている上に幾多の近代的施設が完備し実に理想的な温泉界の原産地であり、別府温泉こそ平和の復興に寄与せんとする国民の健康と資源、体力増進のオアシスであり明日への飛躍に備へるよき休養地である。この豊富なる温泉を有する別府はその良き風光と共に世界の観光地として将来の発展を約束されている。



温泉数

年度末現在				本年度増掘掘さい願		
公共浴場	目家用浴場	停止	計	公共浴場	目家用浴場	計
815	720	1,021	2,556	68	7	75

地区別温泉数

旧市内	亀川	朝日	石垣	南立石	計
1,295	503	79	76	154	2,107

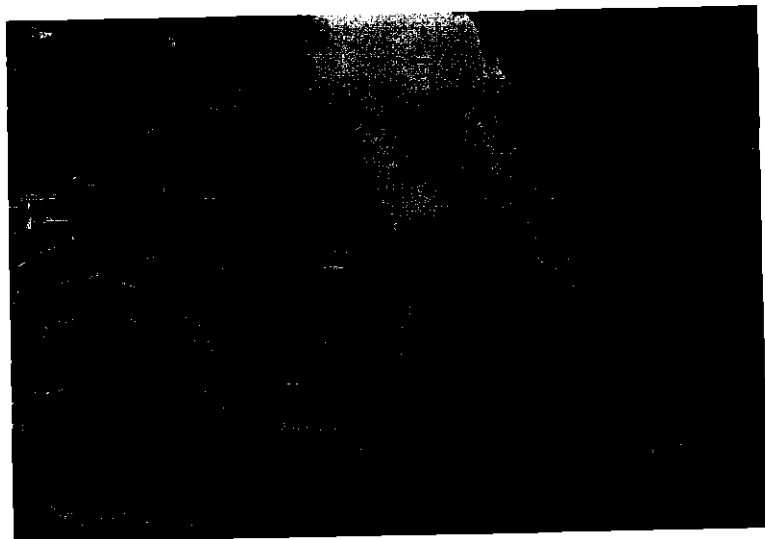
噴気孔数

亀川	石垣, 南立石	朝日	計
65	273	111	449

温泉工事費

昭 32. 4 ~ 33. 3

工事名	泉源工事費	給湯工事費	維持修繕費	新管改築費	計
工事金	1,411,400	295,600	835,536	5,605,850	8,148,386

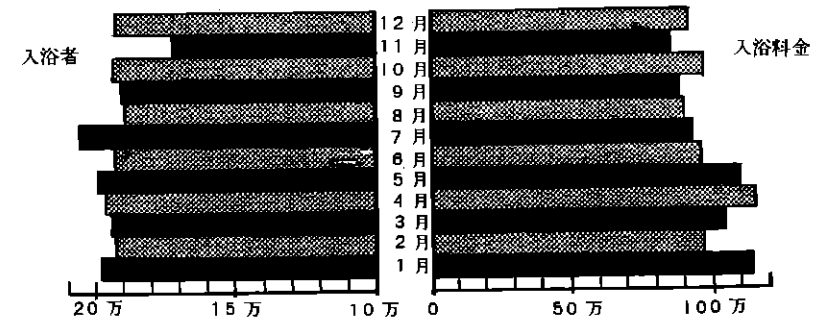


市営十萬地獄  
(一昼夜湧出量 6,000石といわれている)

市営温泉入浴者数

温泉名	一日平均入浴者数	一年間入浴者数	温泉名	一日平均入浴者数	一年間入浴者数
竹瓦温泉	456.0人	166,443人	海門寺温泉	430.7人	157,235人
霊湖泉蒸湯	52.6	19,036	亀陽泉	280.5	102,406
柳温泉	231.4	84,470	東亀陽泉	65.9	24,077
永石温泉	505.9	184,678	浜田温泉	188.3	68,735
浜脇温泉	1,306.5	476,874	鉄輪蒸湯	212.5	77,594
浜脇高等温泉	895.4	326,827	天然砂湯	15.9	5,835
錦温泉	736.5	268,773	田ノ湯温泉	543.2	198,282
不老泉	721.7	263,426	計	8,842.9	2,424,681

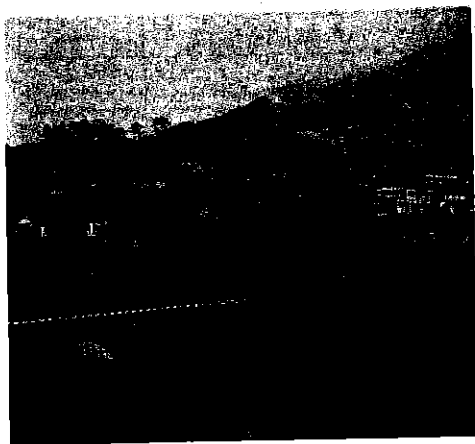
市営温泉月別入浴者及び料金



温泉効能

温泉名	所在地	泉質	入浴設備及施設	医 療 効 能
竹瓦温泉	北浜	含炭酸単純泉 含(塩類泉)	砂湯, 臥湯泉浴	ロイマチス, 神経痛, 婦人病, 新陳代謝病等
霊湖泉蒸湯	港町	含土類単純泉	温泉気浴, 泉浴室 休憩室	咽喉諸症, ロイマチス, 神経痛, 関節強直等
柳温泉	楠浜	含炭酸単純泉	泉浴	外傷後回復期, 神経衰弱, 半身不随及関節皮膚病, ヒステリー, 婦人病等
永石温泉	南町	"	泉浴	"
浜脇温泉	魚梨	炭酸性硫黄泉	泉浴	慢性皮膚病, 頑固の潰瘍, 消化不良, 利尿, 痛風, 慢性関節, ロイマチス
浜脇高等温泉	魚梨	含土類含塩泉	泉浴, 休憩室 家族室	ロイマチス, 神経痛, 一般虚弱者, 病後回復期等,
錦温泉	錦町	炭酸性硫黄泉	泉浴	慢性皮膚病, 頑固の潰瘍, 消化不良, 利尿, 痛風, 慢性関節, ロイマチス,
不老泉	不老町	含炭酸単純泉 鉄炭酸泉	泉浴, 家族湯, 集会場	胃腸病, 皮膚病, 腫物神経痛, ロイマチス, 新陳代謝病等
海門寺温泉	海門寺	含炭酸単純泉	泉浴	外傷後回復期, 神経衰弱, 半身不随及関節皮膚病, ヒステリー, 婦人病等
亀陽泉	亀川	塩類泉	泉浴	ロイマチス, 神経痛, 外傷, 婦人病, 虚弱者, 萎縮病等
東亀陽泉	亀川	"	泉浴, 砂湯	"
浜田温泉	浜田	含土類含塩泉	泉浴	ロイマチス, 神経痛
鉄輪蒸湯	鉄輪	蒸湯	温泉気浴, 泉浴	神経痛, 関節強直, 運動麻痺, 咽喉諸症, ロイマチス等
天然砂湯	北浜	含食塩アルカリ性炭酸泉	泉浴, 臥湯, 休憩室, 家族室	一般虚弱者, ロイマチス, 神経痛, 病後回復期等
田ノ湯温泉	田ノ湯	含炭酸単純泉 硫黄泉	泉浴	諸瘡, 皮膚病, 胃腸病, 婦人病, 神経痛, ロイマチス等

# 温泉案内



## 堀田温泉

鶴見ヶ丘の東麓にあり、三方岳巒に囲まれ前面遙かに海光を望み、野趣豊かな温泉場でまた堀田地獄がありこの噴気孔を利用し水を注入し各地に引湯浴泉の便を計っている。

交通 別府駅から西北6軒バスの便あり、観海寺温泉の西2軒

## 観海寺温泉

観海寺山の中腹にあり、後に鶴見岳を負うて高燥な崖上に一つの温泉郷を成している。前面には石垣原を見越して別府湾を見下し、伊予(四国)の連山を雲烟漂渺の間に望まれる。展望の勝別府諸温泉中の白眉とされている。

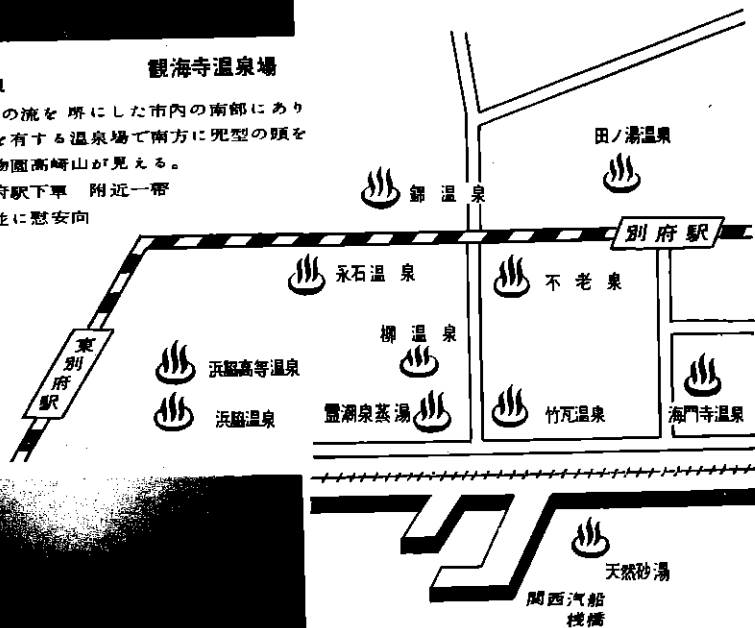
交通 別府駅から西約3軒バス便あり  
特色 保養並に療養向

## 浜脇温泉

浜脇は朝見川の流を堺にした市内の南部にあり特異の雰囲気有する温泉場で南方に兜型の頭を見せる自然動物園高崎山が見える。

交通 東別府駅下車 附近一帯  
特色 保養並に慰安向

## 観海寺温泉場



## 別府温泉

別府温泉群の中心で街は湯の上に浮いていると伝うべく市営区営、共同浴場合せ 80 箇所余り、旅館その他にある内湯の数は千を以て数える程である湧出口4000余、一昼夜の湧出量40万石に及ぶと推定され保養と療養方面に大きな役割を演じ治療上の効能はあらゆる方面に及んでいる。

交通 関西汽船、日豊線別府駅下車附近一帯  
特色 保養並に慰安向

山手より見た夜の別府温泉場



## 鉄輪温泉場

## 明雲温泉

鶴見岳の北麓明雲山の東腹にあり、海拔約400米の高燥の地で溪流あり、瀑布あり、また温泉の湧出もあり、海山の眺望がよい又紅葉の頃は最も優れた景趣を現わす。

交通 別府駅から西北10軒 亀川駅から7軒バスの便あり  
特色 療養向

## 鉄輪温泉

別府の西北に位し鶴見岳の前山である扇山の東北にある。東に別府湾を眺め西に由布、鶴見の連山負いに鍋山がある。土地高燥、海山の眺望がよく温泉の豊富なことは別府温泉に劣らない。

交通 亀川駅から西南4軒、別府から西北6軒、安石から南20 米バス便あり。  
特色 保養並に慰安向

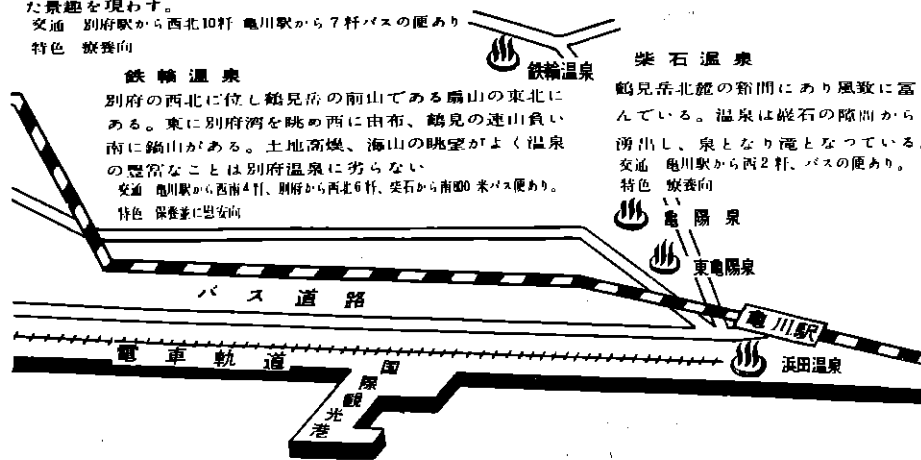
## 柴石温泉

鶴見岳北麓の箱間にあり風致に富んでいる。温泉は磁石の隙間から湧出し、泉となり滝となっている。

交通 亀川駅から西2軒、バスの便あり。  
特色 療養向

## 電陽泉

## 東電陽泉



## 別府湾

## 亀川温泉

別府温泉郷の北の門戸をなし旧別府と同じく海辺の温泉場で繁華の一部をなし地獄巡りの通路となっている。

交通 日豊線亀川駅下車 附近一帯  
特色 保養並に療養向



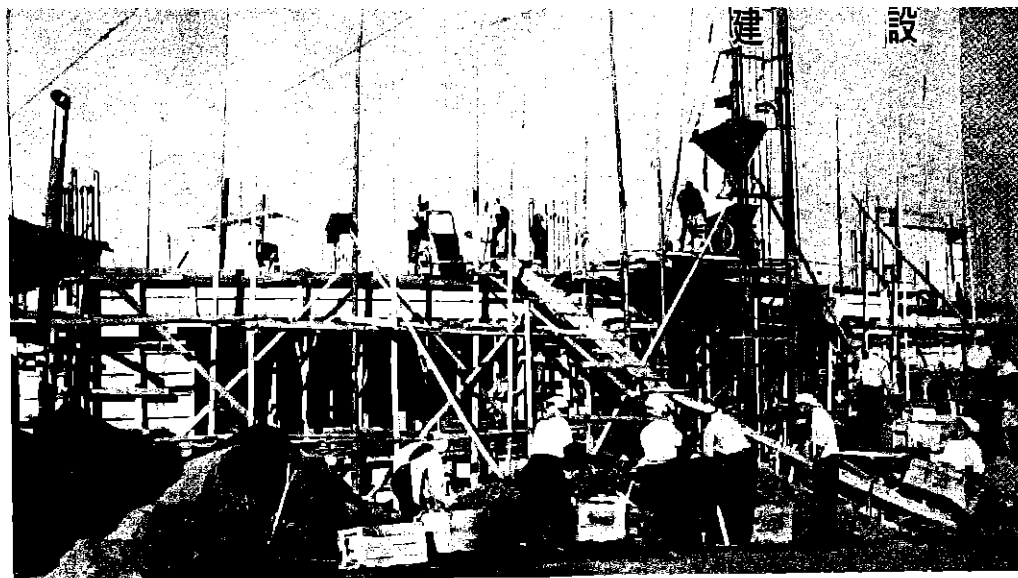
天然砂湯



柴石滝湯



浴槽



学校建築の工事は進む

### 建設計画の主眼

本市の二大特性たる風光、温泉の自然的観光資源の整備による観光温泉都市たらしめると共に西日本における国際観光ルートの要衝として観光客誘致に資するため国際文化都市的性格を具備せしめるものとする。

### 都市計画区域

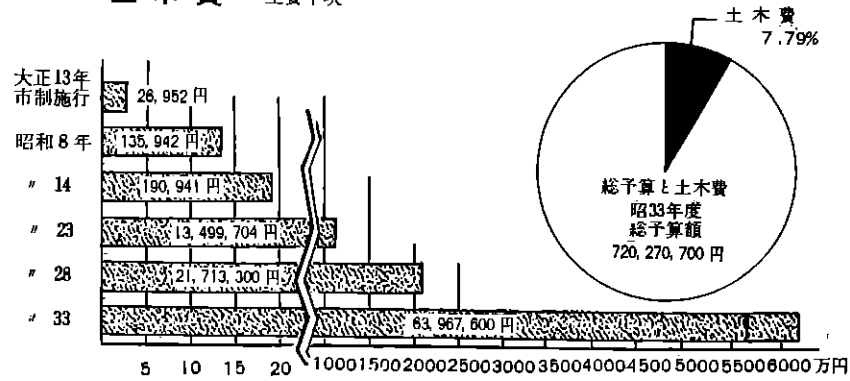
都市計画区域は昭和10年3月決定され行政区域面積124,873平方メートルの内、昭和31年4月編入された日出町、南端村、狭間町の1部を含まない107,90平方メートルとなっている

### 街路計画

区 分	路線数	車 員 別 路 線 数	施 行 済 延 長
一般路線	25	30米2本、26米1本、22米4本、20米4本、16米4本、15米1本、12米9本	6,367 米
公園路線	4	12米1本、8米3本	
緑 道	3	5米以上3本	



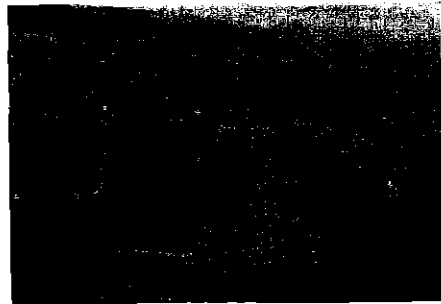
# 土木費 主要年次



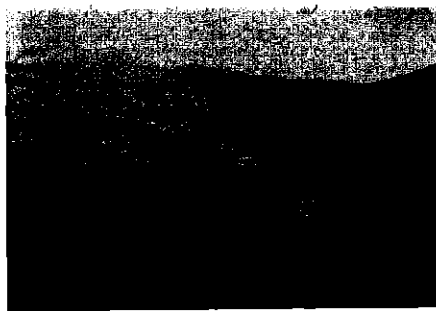
機械化によつて初期工事  
も楽々と

鳥居～志高間

市道建設に陸上自衛隊活躍す



竣工間近し



桜花と共に見事完成し車と人は列をなす

# 公園計画

公園建設計画は市街地区域を中心とする一帯に亘り地形、修景、誘致、距離等も勘案して地域の特殊性及び利用的に応じて公園の性格を定めて13公園を配置するものとする。

## 公園一覧表

番号	名称	位置	地種	概要
第1号	浜脇公園	魚梁区		
第2号	海門寺公園	海門寺区		
第3号	別府公園	上原区		
第4号	乙原公園	乙原区		
第5号	緑ヶ丘公園			
第6号	南立石公園			
第7号	実相寺中央公園	実相寺区		
第8号	上人ヶ浜公園	上人ヶ浜区		
第9号	鉄輪地獄地帯公園	鉄輪一帯		
第10号	亀川公園			
第11号	温水公園	古市区		
第12号	松原公園	松原区		
第13号	山田児童公園	山田区		



海門寺公園

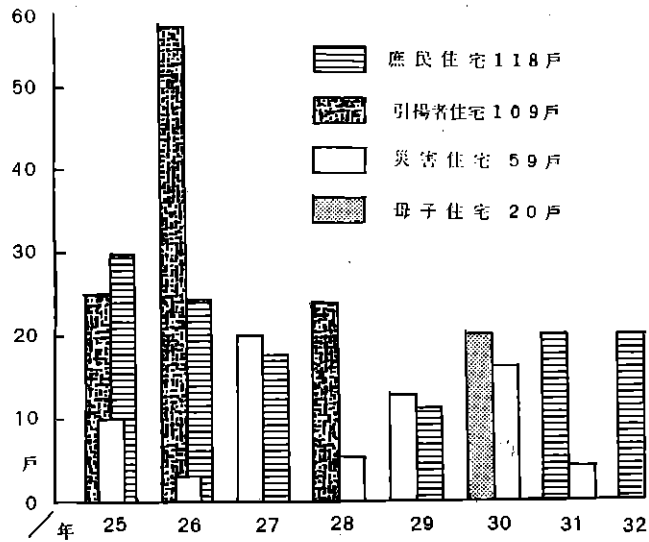


水族館もすぐそこに  
浜脇公園

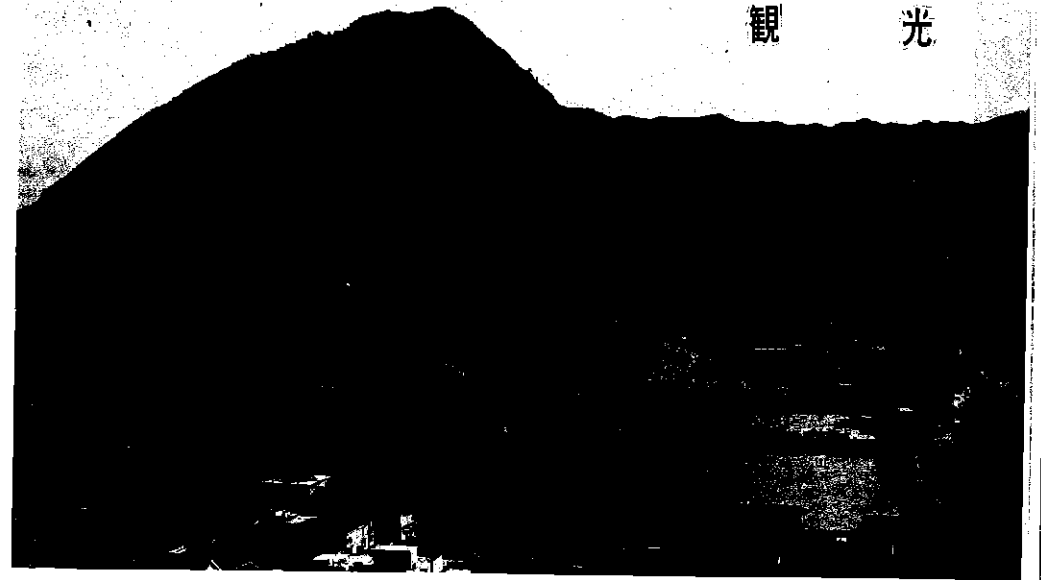


各種公営の建並ぶ鶴見原団地

### 年別公営住宅建築戸数



## 観 光



テレビ塔より別府港，高崎山を望む

### 別府の観光案内

市内の観光には地獄めぐり，ケーブルラクテンチ，観光テレビ塔，水族館，温泉プール，大仏，鶴見園更に郊外には志高湖，城島高原，ゴルフ場，十文字原展望台，野猿の高崎山等あり，衛星観光地には耶馬溪，風連鐘乳洞，山布川溪谷，湯布院温泉場等本市を起点とするもの亦多し

### 別府への旅

陸 路		海 路	
東京より	23.00 時間	大阪より	18.30 時間
名古屋 "	17.20 時間	神戸 "	17.20 時間
京阪神 "	13.00 時間	高松 "	13.00 時間
岡山 "	10.30 時間	松山 "	5.20 時間
広島 "	7.00 時間	八幡浜 "	5.30 時間
下関 "	2.30 時間	宇和島 "	6.30 時間
博多 "	2.50 時間	呉 "	10.00 時間
鹿児島 "	10.00 時間	広島 "	8.50 時間

市内の観光



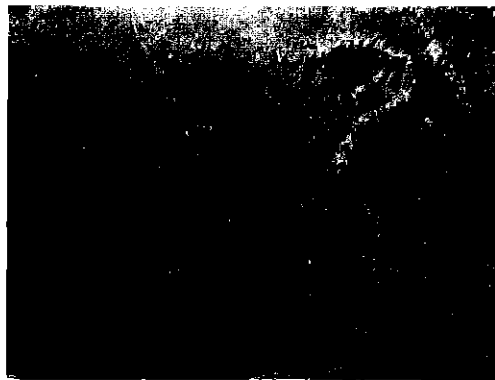
血の池地獄

地獄めぐり

別府の観光で絶対に見逃してはならないものを掲げるならばその第一は地獄めぐりでしょう。  
全コース20余軒、10余の各種地獄を遊覧バスにより約2時間半で観られます

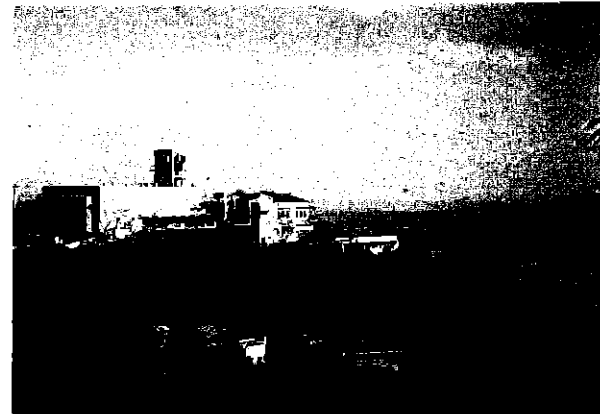


海地獄



坊主地獄

ケーブルラクテンテ



市街の後方標高200米余の台地にケーブルカーで登れば数万坪の園内には動物園、子供の国、眺望絶佳の大浴場、更に温泉療養完備の大食堂、演芸場等を有する六階建本館あり名実共に比類なき遊覧の総合大デパートである。

一はケーブル山頂駅より本館附近を望む

園内南端には人形館があり春はつじ人形、秋は菊人形が豪華、絢爛たる絵巻を展開する。



観光テレビ塔夜景

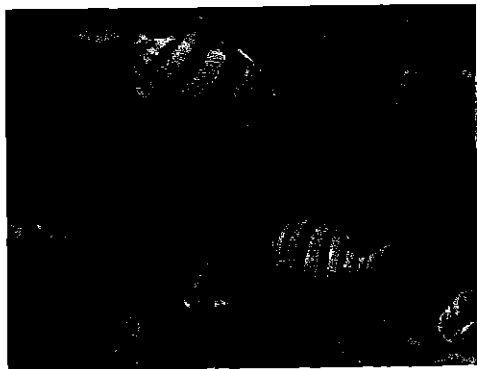
四階のビル上より地上1000米の鉄塔が聳え、その中間500米に夢の展望台があり、夜は全塔電飾に輝いて景都の空を照す。

別 府 大 仏

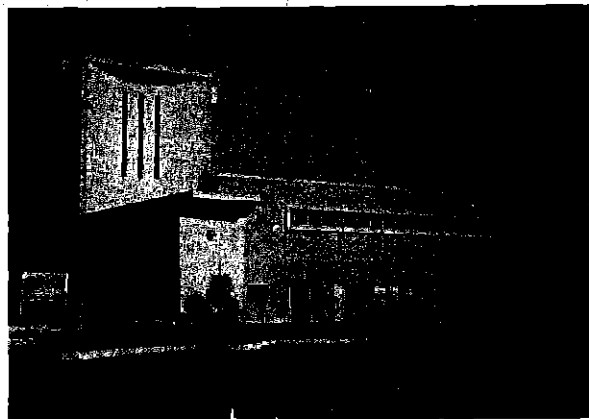


八十尺(約26米)の高さを誇る東洋一の大仏

水槽の  
一コマ



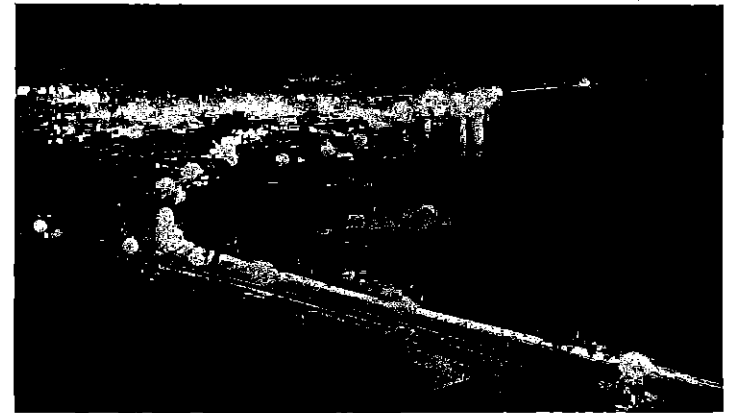
県下唯一の水族館は東別府の海岸にあり年々内容が充実されている



市営水族館全景

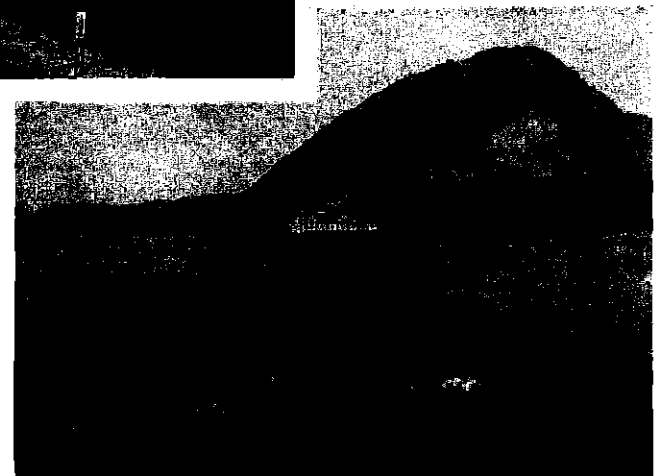
市 街 の さ ま さ ま

ネオンの海と化した歓楽郷



瀬戸内海のさざ波が西に尽くるところ、そこに世界の温泉観光都市、別府がある。

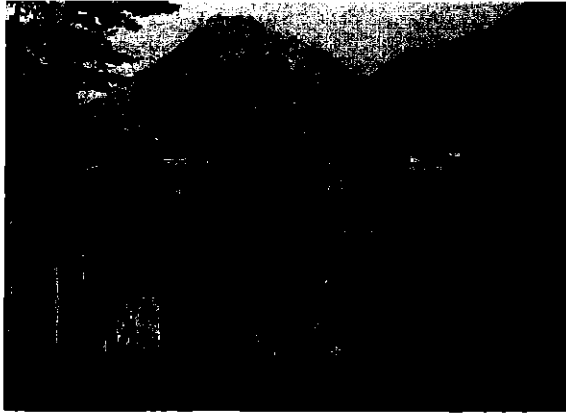
大分市田ノ浦海岸よりの本市遠望で背後の山は秀峰、由布、鶴見の連山である



枕辺に静かに寄せる波の音を聞き乍ら天与の砂灘に浸る……

明日はあの船に乗って湯の街に別れを告げるかも知れない然し今は只 無我々

郊外の観光



志高湖

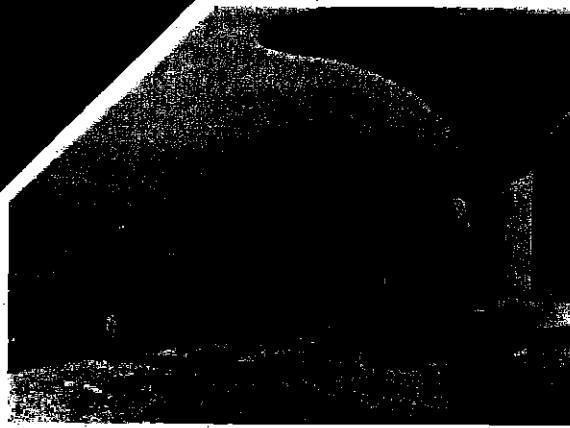
標高 600米, 市街よりバスで30分  
余, 九州の軽井沢と謂はれる志高  
湖と城島高原。  
春から夏にかけては山の銀座と化  
す。  
今春天皇, 皇后両陛下の行幸啓を  
仰ひて行はれた植樹祭は前方右端  
のスロープである。



← 別府ゴルフ場

九州一の規模と風光を誇る別府ゴ  
ルフ場は市街より自動車で約50分

市街はもとより右方大分市から佐賀  
関半島左方日出海岸, 杵築市更に国  
東半島, 中央別府湾から豊後水道の  
彼方に四國の山並を一望する広大な  
草原美の十文字原大展望台。



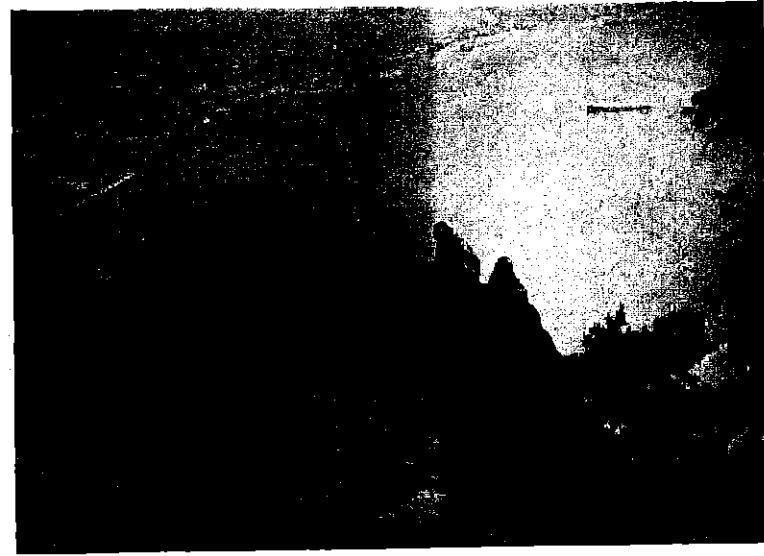
十文字原展望台

由布川峡谷

屹立する両壁, 清冽な流れ大小数十  
の滝, ハツと息をのむ幾多の深淵,  
新緑を楽しむ涼味を求め紅葉を狩る  
季節々々のハイカーは漸く年々増え  
ている (大分県50勝の一)

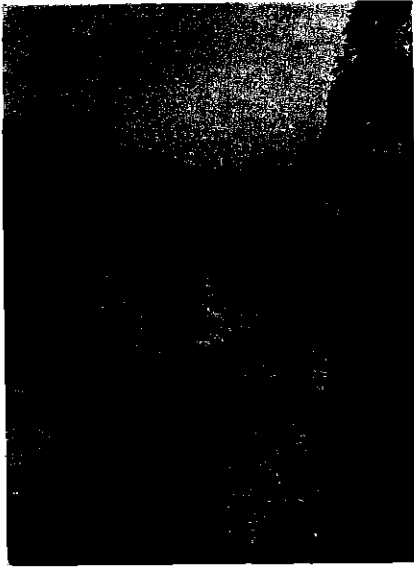


野猿の高崎山



五百有余匹の野猿の群が観光客の袂を引き肩に遊ぶ自然動物園、  
市街よりバス、電車で十五分

耶馬溪



青の洞門と山国川の清流

天下の奇勝耶馬溪は文豪菊池寛原作の思響の彼方まで全国にその名を知られた  
 そして今も尚僧禪海の奇麗をとめる青の洞門……  
 新緑と奇岩、紅葉と溪谷、此処を訪ずれる観光客は四季絶えまがない。



観光客で賑う青の洞門

風連鐘乳洞



本市と県南佐伯市を結ぶ国道線を約45軒の処、大野郡野津町川登に存す。

洞穴の全長210米余、全洞石灰石の奇岩屹立し、或はつらら状に垂下する大自然の異景は人をして別世界に居るの感を抱かしむ。

← は槽秀峰の壮観



洞内の最深部（ここより先は未開拓）に見る  
 天外界全貌

温泉まつりと納涼大会

温泉まつりともなれば  
地獄の鬼も浮かれ出る



神様もヨロメク？  
女御輿  
(温泉まつり)



手ぶりも鮮かに  
納涼音頭大会

あ と が き

1. 本要覧は別府市勢の概要を知つて頂くために編纂したものである。
2. 本要覧は主として昭和32年若しくは32年度中の統計資料を中心としたが、市制施行35周年記念号のため35年間に於ける飛躍発展を知るための主要記事についてはつとめてこれを登載した。
3. 本要覧は市役所主管外の事項についても出来得る限り広く集録した。
4. 本要覧はその内容にも種々不備な点があるかとも思われるが各位より御批判と御指導をいただき逐次改善してゆきたいと考えている。
5. 本要覧の刊行に際して貴重な資料並びに御助言を寄せて頂いた各方面に対し深く感謝の意を表する次第である。

昭和33年版 別 府 市 勢 要 覧

編 集 別府市長室調査課統計係  
 昭和33年11月1日 印刷  
 発行 別 府 市 役 所  
 昭和33年12月1日 発行  
 (非売品) 印 刷 日 の 丸 印 刷 株 式 会 社